（別冊）令和7年度取組実績一覧

基本方向1．人権教育の推進　（1）学校園などにおける人権教育の充実

★:枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和7年度取組実績に掲載している項目↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R7年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 （基本方向4：関係団体、市民団体等との協働）	今後の方向 （令和8年度～）	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など	
1 女性の人権	男女共同参画等への理解促進	人権政策課 支援教育課	DV予防教育プログラム	①対象：枚方市内の児童・生徒 ②取組内容：学校生活の様々な場面において、自分も他者も尊重しながら問題を解決する姿勢を育むため、性別を理由とする差別や不平等、被害者となることが多い女性や女児に対する暴力等に終止符を打つ取組の一環として、男女の対等性や暴力を伴わない人間関係などを学ぶ. ③実績値：小学校8校、中学校7校	特定非営利活動法人 SEAN	現状維持	一校でも多く、本プログラムを実施してもらえるように周知の仕方を考える。	
2 子どもの人権	いじめ防止に関する教育の推進	人権政策課	いじめ未然防止ワークショップ	①対象：伊加賀・氷室留守家庭児童会室 ②取組内容：グループごとに協力してひとつの絵を完成させるワークを実施した。同じお題をもとに描いていても、グループごとに全く違う絵が完成することから、感じ方は人それぞれであることや、他者を否定しないコミュニケーションを体験することで、いじめ未然防止について考える機会とした。 ③実績値：ワーク実施 2児童会室計38人	―	拡充	「自分のイメージと違っていても否定しない」等のルールを設定し、ゲームを通してより良いコミュニケーションを体験できるよう工夫した。 令和8年度には、いじめ未然防止に関する問いかけ等を行うワークショップを新たに実施する。	★ (P.3)
2 子どもの人権	いじめ防止に関する教育の推進	公立保育幼稚園課	いじめの未然防止に係る幼児対象人形劇	①対象：就学前児童 ②取組内容：人形劇団を派遣し、友情や友達・仲間をテーマにした人形劇を実施した。 ③実績値：実施 17施設　21公演　観覧者数約2,600人	枚方市いじめ問題対策連絡協議会	現状維持	各研修の対象を、所管する公立施設のみでなく、民間の就学前児童施設も対象とすることで、より広く子どもの人権を考える機会を創設し、人権教育の充実を図っている。	
2 子どもの人権	・子どもの権利の啓発推進 ・いじめ防止に関する教育の推進 ・学習支援の推進 ・児童虐待の予防・防止 ・暴力の予防に向けた教育・啓発の推進 ・相談・支援体制の充実	支援教育課	人権教育の推進	①対象：枚方市立小中学校 ②取組内容：「ともに学び、ともに育つ」教育の推進をはじめ、人権尊重の精神に立った学校園づくりを進め、すべての幼児・児童・生徒の自立、自己実現、豊かな人間関係づくりが図られるよう、人権教育についての全体計画及び年間指導計画等の人権教育推進計画の作成・活用、見直しを発達段階に即したものとなるように留意して行った。 ③実績値：小学校44校 中学校19校	―	現状維持		
2 子どもの人権	・子どもの権利の啓発推進 ・いじめ防止に関する教育の推進	人権政策課	人権教室	①対象：児童・生徒 ②取組内容：人権擁護委員が小学校を訪問し、人権啓発DVDや冊子などを活用して、人権について考えることに より、命を大切にする気持ちや、他人を思いやる心を育むことを目的に、人権教室を実施した。 ③実績値：小学校人権教室参加者数 9校555人	枚方地区人権擁護委員会	現状維持	人権教室を通じて、相談窓口の案内を行い、児童・生徒が何かあればSOSを出せるよう心掛けている。	
2 子どもの人権	・子どもの権利の啓発推進 ・いじめ防止に関する教育の推進	人権政策課	プライベートゾーンに係るこども人権教室	①対象：未就学児や小学校低学年児童 ②取組内容：子どもたちが性被害の加害者にも被害者にも傍観者にもならないよう「自分の体は自分で守る」という意識を育むことを目的に人権教室を実施した。 ③実績値：参加者数 7小学校776人、市内幼稚園等15 園785人	大阪第二人権擁護委員協議会	現状維持	・子どもへの性被害を防止するため、絵本や紙芝居を使ってわかりやすく伝えている。 ・授業参観日に実施希望の学校もあり、家庭で保護者と子どもが話し合えるよう配慮した。	★ (P.6)
3 高齢者の人権	・高齢者や認知症についての理解促進	健康福祉政策課	認知症フレンドリーキッズ授業	①対象：小学生 ②取組内容：認知症の基礎知識についてや、VRを使った認知症の人が見える世界を疑似体験してもらう授業を通して、正しく認知症について理解し認知症の人が尊厳を持ち住み慣れた地域で暮らし続けることができる共生社会を学ぶことを目的とした事業であり、学校園出前講座に掲載し、募集したが実施を希望する小学校が0件であった。 ③実績値：0人	市内小学校	現状維持		
4 障害のある人の人権	・障害についての理解促進 ・相談・支援体制の整備・充実	支援教育課	「ともに学び、ともに育つ」教育の推進	①対象：枚方市立小中学校 ②取組内容：通級指導教室、支援学級の設置 ③実績値：通級指導教室（小学校31校、中学校19校） 支援学級（全小中学校63校）	―	拡充	ともに学びともに育つという考えのもと、市内全校に通級指導教室を設置できるよう、拡充していく。	
6 部落差別（同和問題）	部落差別（同和問題）についての理解促進	支援教育課	同和教育の推進	①対象：枚方市立小中学校 ②取組内容：関係法令及び答申等の趣旨を踏まえ、人権尊重の視点に立った取組を進めるとともに、同和問題の早期解決に向けて、人権教育の一環として年間指導計画に位置付け、同和教育を実施した。 ③実績値：小学校44校 中学校19校	―	現状維持		
8 HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権	HIV感染者・ハンセン病についての理解促進	保健予防課 健康づくり課	HIV・性感染症の知識・検査を普及する「大学フェア」	①対象：市内5大学 ②取組内容：各大学学内にて、HIVに関する啓発とともに健康づくりに関する内容（栄養・運動・歯科・たばこ・アルコール・心の健康・食中毒等）について知識の普及を目的とし啓発を行った。 ③実績値：参加者数467人	・摂南大学 ・大阪工業大学 ・大阪歯科大学 ・関西外国語大学 ・関西医科大学	現状維持	性的マイノリティやこころの健康など他の人権問題も考慮し啓発を継続する。	★ (P.3)
12 性的マイノリティ（LGBT等）の人権	性の多様性についての理解促進	支援教育課	ジェンダー平等教育の推進	①対象：枚方市立小中学校 ②取組内容：性的マイノリティとされる児童・生徒についての理解を深め、個の状況に応じ、教職員が協力して児童・生徒が相談しやすい環境を整えるとともに、心情に配慮した上で、幼児・児童・生徒が正しく理解できる教育を実施した。 ③実績値：小学校44校 中学校19校	―	現状維持		

（別冊） 令和7年度取組実績一覧

基本方向Ⅰ．人権教育の推進　（2）地域における人権教育の充実

★:枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和7年度取組実績に掲載している項目↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R7年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 （基本方向4：関係団体、市民団体等との協働）	今後の方向 （令和8年度～）	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など
2 子どもの人権	・子どもの権利の啓発推進 ・相談・支援体制の充実	子ども青少年政策課	青少年育成指導員向け講座	①対象：青少年育成指導員 ②取組内容：「青少年を取り巻く実情ついて」をテーマに大阪府福祉部子ども家庭局 青少年支援課職員による研修を実施した。 ③実績値：参加者数 32人	枚方市青少年育成指導員連絡協議会	現状維持	
2 子どもの人権 16 ひきこもりの状態にある人の人権	2：子どもの権利の啓発推進 16:ひきこもりに関する理解促進	まるっとこどもセンター	サポートフレンド養成講座	①対象：R5年度養成講座を受講し、サポートフレンド（ひきこもり等の子ども・若者に対する地域の中での理解者）に登録された方 ②取組内容：新規のサポートフレンド養成講座は数年に1回の開催。R7年度は、継続的にひきこもり等への理解を深める取り組みを行った。 （1）ひきこもり等の子ども・若者のための居場所支援事業にサポートフレンドが参加。その参加者を対象に月1回のフォローアップ研修を実施。 （2）全てのサポートフレンドを対象に、市民講座をスキルアップ研修と位置付けて実施。 ③実績値：登録者数27人。 （1）居場所支援への参加人数：10人。居場所支援参加サポートフレンドへのフォローアップ研修：実施12回。 （2）全サポートフレンド対象のスキルアップ研修：実施1回、参加者4人。	—	現状維持	サポートフレンドが理解を深め安心して関わることで、子ども・若者の支援となるよう、丁寧にフォローを行った。
2 子どもの人権 16 ひきこもりの状態にある人の人権	2：子どもの権利の啓発推進 16:ひきこもりに関する理解促進	まるっとこどもセンター	市民向け学校相談会	①対象：中学校卒業以降の進路に悩む、子ども・若者とその家族。支援者、子ども・若者支援に関心のある方。 ②取組内容：中学校卒業以降の進路には、多様な選択肢があることを子ども・若者本人やその家族に届けること等を目的として、「つながる相談会 in ひらかた～定時制高校・通信制高校・高等専修学校など～」を開催。 （1）参加校によるパネルディスカッション、（2）各ブースにて個別相談会 ③実績値：（1）97人。（2）延べ42組。	—	現状維持	多様な学びの選択肢や価値観があること啓発するとともに、中学卒業以降も支援が必要な子ども・若者の孤立を防ぎ、不登校やひきこもり等の予防につながることを目的として、新規に事業を実施した。
3 高齢者の人権	高齢者や認知症についての理解促進	健康福祉政策課	認知症サポーター養成講座	①対象：市民 ②取組内容：認知症に関する正しい知識及び認知症の人に関する正しい理解を深めるため年5回講座を開催した。また、地域包括支援センターと協力し地域のコミュニティや企業等に対しても講座を開催した。 ③実績値：養成人数912人	認知症キャラバン・メイト	現状維持	
3 高齢者の人権	高齢者や認知症についての理解促進	健康づくり課	生活支援員養成研修	①対象：枚方市内に住んでいる人、枚方市内で働きたい人 ②取組内容：支援を必要とする高齢者に掃除や買い物、調理などの家事の支援を行う介護予防・生活支援サービス事業である生活援助訪問事業を担う「枚方市生活支援員」を養成するための講座を6回実施した。 ③実績値：修了者数 69人	・生協法人 大阪高齢者生活協同組合 ・特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ枚方拠点 ・公益社団法人 枚方市シルバー人材センター	現状維持	研修で使用するテキストに「尊厳の保持」の章を設けており、人権に係る基礎知識をはじめ、高齢者虐待や成年後見制度、倫理等を研修時間内に扱うことで理解を深めている。
3 高齢者の人権	高齢者や認知症についての理解促進	健康づくり課	ひらかた生き生きマイレージ	①対象：枚方市介護保険の第1号被保険者のうち、介護保険料の滞納がない者 ②取組内容：高齢者の社会参加を促進し、健康寿命を延ばすことを目的に、自らの知識・経験を生かして介護保険施設等にて身体介護を伴わないサポーター活動を行う、ひらかた生き生きマイレージを実施した。また新任サポーターの研修を3回実施した。 ③実績値：（活動参加延人数：傾聴・見守り 261人、施設の手伝い 403人、喫茶 5人、レクリエーション 35人、書道・茶道 102人、歌・紙芝居 217人、園芸・畑づくり 113人、演奏 562人）（受入先延人数：特養 247人、デイサービス 1133人、グループホーム 38人、介護老人保健施設 144人、有料老人ホーム 7人、障がい者地域活動スペース 85人、高齢者居場所 44人）（新任サポーターの研修3回分：参加者数 39人、うちサポーター登録者数 36人）	生協法人 大阪高齢者生活協同組合	見直し	新任者研修では、「豊かな地域社会は住民自身の手で」というテーマで人権も含めた内容を取り扱い学びを深めている。既存の登録サポーターは年に3回実施する現任者研修のうち、1回の参加を登録継続の条件としており、認知症や障害疑似体験等、人権に関係するテーマを扱っている。
3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権	3:高齢者や認知症についての理解促進 4:障害についての理解促進	健康福祉総合相談課	市民後見人養成講座	①対象：将来市民後見人として活動する市民及び市民後見人 ②取組内容：専門職や社会福祉協議会以外の権利擁護支援の新たな担い手として市民後見人の養成を行い、モチベーション維持のためにフォローアップ研修実施。 ③実績値：3名が新たにバンク登録。フォローアップ研修は2回開催。	・社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 ・ひらかた権利擁護成年後見センター	現状維持	受講者に合わせて、手話通訳や要約筆記の派遣を検討している。
3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権	3:高齢者や認知症についての理解促進 4:障害についての理解促進	健康福祉総合相談課	市民啓発講座	①対象：枚方市内在住、在職の市民 ②取組内容：地域福祉への理解を深めることを目的として、枚方市社会福祉協議会と連携し、「成年後見制度」をテーマに寸劇や連続講座、講演会を開催。 ③実績値：各参加者数 寸劇32名、連続講座（1）62名（2）59名（3）48名参加、講演会40名	社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会	現状維持	手話通訳や車イスの方等、支援が必要な方には随時対応している。
3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権	3:高齢者や認知症についての理解促進 4:障害についての理解促進	健康福祉総合相談課	支援者向け研修、親族後見人向け研修	①対象：支援者（地域包括支援センター、障害者相談支援センター、居宅介護支援事業所、医療機関等）、親族後見人（後見人等を受任している人、既に申立てを終えている人） ②取組内容：第一部「事例から考える成年後見制度の活用方法」、第二部「今さら聞けない成年後見制度の基礎知識」をテーマに支援者に理解を深めてもらえるよう研修会を実施。また、「知っておきたい親族後見人の心得」をテーマに親族後見人向けの勉強会を実施。 ③実績値：支援者第一部21名、第二部11名、親族後見人等8名（オンライン参加可）	ひらかた権利擁護成年後見センター	現状維持	手話通訳や車イスの方等、支援が必要な方には随時対応している。
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	障害企画課	枚方市手話講習会	①対象：18歳以上の市民 ②取組内容：ろう者の生活や福祉制度への理解と認識を深め、更に日常生活上の基本的な手話を習得したい方に向けて講習会を実施した。 ③実績値：修了人数 37人	枚方市聴力障害者協会	現状維持	
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	障害企画課	初級音訳講習会	①対象：枚方市内に在住・在職・在学で点字やボランティア活動に意欲・関心のある人 ②取組内容：視覚障害のある方への理解を深め、また、音声で分かりやすく伝えるための基本技術やデジタル録音技術（デイジー形式）の基本を学ぶため講習会を実施した。 ③実績値：修了人数：7人	特定非営利活動法人 デイジー枚方	現状維持	
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	障害企画課	点訳講習会	①対象：枚方市内に在住・在職・在学で点字やボランティア活動に意欲・関心のある人 ②取組内容：点字板と点筆を使った点訳の基本技術や、疑似体験を通して、視覚に障害のある人の暮らしについて学ぶため講習会を実施した。 ③実績値：修了人数4人	社会福祉法人 わらしべ会	現状維持	

★ (P.4)

基本方向1．人権教育の推進　（2）地域における人権教育の充実

★:枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和7年度取組実績に掲載している項目↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R7年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 （基本方向4：関係団体、市民団体等との協働）	今後の方向 （令和8年度～）	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など	
5 こころの病（うつ病など）に関する人権	・こころの病（うつ病など）についての理解促進 ・相談・支援体制の整備・充実	保健医療課	ゲートキーパー養成研修	①対象：市民、関係機関職員、市職員 ②取組内容：こころの病や自殺に関する正しい知識について理解促進を図るため、留守家庭児童会室職員に対して「傾聴について学ぶ ～ゲートキーパーについて知る～」をテーマに研修を実施。市民向けに1回、職員向けに2回、支援者向けに1回、ゲートキーパー養成研修を実施した。 ③実績値：受講者　心の教室相談員　18名、市民向け 27名、 職員向け 1回目107名 2回目30名	枚方市社会福祉協議会	現状維持		
5 こころの病（うつ病など）に関する人権	・こころの病（うつ病など）についての理解促進 ・相談・支援体制の整備・充実	保健医療課	心のサポーター養成研修	①対象：市民、関係機関職員 ②取組内容：メンタルヘルスや精神疾患への理解を深め、心のサポーターが養成されていくことで、精神疾患の予防や早期介入につなげることを目的に、1回目オンライン、2回目対面で実施。 ③実績値：受講者1回目19名、2回目74名	―	現状維持		★ (P.4)
5 こころの病（うつ病など）に関する人権	・相談・支援体制の整備・充実	保健医療課	こころの電話相談ボランティア養成講座（フォローアップ研修）	①対象：電話相談員 ②取組内容：電話相談員のスキルアップを図り、相談事業の充実を目的にフォローアップ研修を実施。 ③実績値：実施回数 62回、参加延人数476名	枚方市社会福祉協議会	現状維持		
7 外国人の人権	・多文化についての理解促進 ・相談・支援体制の整備・充実	観光交流課	日本語ボランティア養成講座 日本語ボランティアステップアップ講座	①対象：市民 ②取組内容：会話や読み書きに困っている外国人に、ボランティアとして日本語を指導する方法を学ぶための講座と、外国人に日本語を教えたことがある人、日本語ボランティアについて学習経験がある人のための、日本語指導に必要な知識・スキルのレベルアップを目指す講座を実施。 ③実績値：受講者数 日本語ボランティア養成講座32名、ステップアップ講座15名	ヒューマンアカデミー株式会社	現状維持	講座を受けた後の継続した活動を促すことが課題。	
7 外国人の人権	多文化についての理解促進	観光交流課	市民向け国際理解講座	①対象：市民 ②取組内容：外国人に分かりやすい日本語の基礎知識、「やさしい日本語」の基本的な内容、方法を学ぶ講座を実施。 ③実績値：受講者数 28名	公益財団法人 とよなか国際交流協会	現状維持	どんな言葉や表現が難しくて、どんな工夫をすれば伝わりやすいのか、日常での使用場面を想定した例題を用いて「やさしい日本語」での表現を考えた。	★ (P.4)
7 外国人の人権	多文化についての理解促進	教育政策課 （文化生涯学習課）	朝鮮語教室	①対象：市民 ②取組内容：朝鮮語学習を通じて、隣国である朝鮮半島の文化等を理解し、韓国・朝鮮人を含めた全ての市民が、市民としての相互の交流を深め、多文化共生社会を醸成するとともに、国際交流の推進を図るため、通年の教室を開催した（年間授業日数40日）。 ③実績値：参加者数39人	―	現状維持	単に語学を学ぶだけでなく、朝鮮半島の歴史、生活、文化、在日韓国・朝鮮人をとりまく諸問題なども併せて学べる授業内容とすることで、異文化理解を深め、韓国・朝鮮人を含めた全ての市民が、相互の交流を通じて、共に多文化共生社会を作っていく第一歩にできるように工夫した。	
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	なんでも、どこでも出前塾	①対象：民生委員・児童委員 ②取組内容：枚方市の人権施策を広く市民に理解してもらえるように、「なんでも、どこでも出前塾」に登録していた講座「人権について」について、申し込みのあった民生委員・児童委員に対して講座を行った。 ③実績値：参加者数60人	―	現状維持	各校区委員会が指定する会場に赴き、さまざまな人権問題について、民生委員・児童委員の活動ともつながる内容を意識しながら、講座を実施している。	★ (P.4)
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	危機管理政策課	地域防災推進員育成研修会	①対象：枚方市民 ②取組内容：自助・共助による防災対策の重要性を地域全体に普及させる役割を担う人材を育成するため、これから地域の防災活動に携わることとなる市民を対象に、消防吏員の指導による救出・応急手当訓練や防災に関する講義等をカリキュラムに盛り込んだ「地域防災推進員育成研修会」を実施するとともに、当該研修を受講した市民や既に防災活動に携わっている市民を対象とした「地域防災専門研修」を実施した。 ③実績値：実施回数各1回、受講者数計48人（再受講者計2人を含む）、女性比率約40%(両研修平均)。	枚方寝屋川消防組合	現状維持	・避難所運営における防犯や衛生品の備蓄等といった様々な観点から、防災活動には女性の視点が不可欠であるため、女性の積極的な受講を呼び掛けた結果、受講者全体に占める女性の比率が、呼び掛け開始以前の平均約15%から大きく向上した。 ・研修会のカリキュラムについても、上記の視点を踏まえた内容を都度検討している。	

基本方向1．人権教育の推進　（3）家庭における人権教育の充実

★:枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和7年度取組実績に掲載している項目↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R7年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 （基本方向4：関係団体、市民団体等との協働）	今後の方向 （令和8年度～）	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など
1 女性の人権	・男女共同参画等への理解促進 ・男女共同参画の視点を持った機会の充実	人権政策課	男女共同参画啓発講座	①対象：市民 ②取組内容：性別にかかわりなく誰もが個人として尊重される男女共同参画社会の実現に向けた啓発事業として、女性を対象とした起業セミナーや親子で学ぶ性教育、ワークライフバランスに関する講座や子育て中の父親を対象とした心理学講座を実施した。 ③実績値：参加者数899人	―	現状維持	人権尊重の視点から男女共同参画社会を考える機会としている。
2 子どもの人権	児童虐待の予防・防止	まるっとこどもセンター	親支援プログラム	①対象：子育てについて悩み、よりよい子育て方法について学びたい保護者 ②取組内容：暴力や暴言ではなく、保護者が良好な親子関係を築くためのスキルを学ぶ「親支援プログラム」を実施。 （1）前向き子育てプログラム（小学生の保護者対象）を1回（全7セッション）、 （2）COSP(安心感の輪)プログラム（4か月から就学前の保護者対象）を2回（全8セッション）実施。 （3）幼児から小学4年生までの保護者を対象とした前向き子育て講座を3回、連続講座で実施。 ③実績値：参加者数（1）4人、（2）16人、（3）96人	―	現状維持	様々な立場の方に受講してもらえるよう、講座において対象年齢を昨年度より変えたり、連続講座にするなどの工夫をした。子育て中の方が参加しやすいように、（1）～（3）すべての取り組みにおいて、保育を実施した。
2 子どもの人権	子どもの権利の啓発推進	まるっとこどもセンター	ひとり親家庭市民講座	①対象：枚方市民 ②取組内容：「ひとり親家庭のお金の話～ひとり親家庭向け家計管理～」をテーマに講演を実施 ③実績値：会場参加者 31人、オンライン受講者 15人	―	現状維持	多くの方に受講できる機会を持ってもらうため、会場開催と動画による配信を行った。

★(P.4)

基本方向Ⅰ．人権教育の推進　（4）企業等における人権教育の充実

★:枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和7年度取組実績に掲載している項目↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R7年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 （基本方向4：関係団体、市民団体等との協働）	今後の方向 （令和8年度～）	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など
1 女性の人権	・男女共同参画等への理解促進 ・男女共同参画の視点を持った機会の充実	人権政策課	男女共同参画推進本部研修	①対象：市の理事者、管理職員、希望する市議会議員及び、男女共同参画推進担当者、希望する職員 ②取組内容：ジェンダー感覚をアップデートし、組織に必要なジェンダー平等意識の醸成を図ることを目的とし、「自治体で取り組むジェンダー平等社会づくり」をテーマに研修を実施。 ③実績値：64人（集合研修）、110人（研修ストリーミングシステムによる受講）	―	現状維持	人権尊重の視点からジェンダー平等社会を考える機会としている。
1 女性の人権	被害者支援体制の充実	人権政策課	DV関係機関連絡会議実務者研修	①対象：関係機関の職員 ②取組内容：DV被害者に対してより適切な支援を行うために、DVが心身に与える影響について学び、職員一人 ひとりが市民と関わる上での心構えを振り返り、より適切なDV被害者支援を行っていくため、加害者対応をテーマに「DV加害者の行動パターンをふまえたDV対応について」を実施。 ③実績値：参加者数32人	―	現状維持	連携機関のDV防止に関する理解促進。
2 子どもの人権	子どもの権利の啓発推進	公立保育幼稚園課	就学前児童施設職員人権教育研修	①対象：就学前児童施設職員 ②取組内容：[保育環境と保育者の関わり～一人一人の丁寧な発達を支えるために～」をテーマにWEB開催により研修を実施した。 ③実績値：1講座、参加者165名(公立107名、私立58名）	―	現状維持	各研修の対象を、所管する公立施設のみでなく、民間の就学前児童施設も対象とすることで、より広く子どもの人権を考える機会を創設し、人権教育の充実を図っている。 ★(P.4)
2 子どもの人権	児童虐待の予防・防止	まるっとこどもセンター	外部関係機関職員向け ヤングケアラー研修	①対象：居宅介護支援事業所の介護支援専門員 ②取組内容：介護サービス事業所職員向けにスクールソーシャルワーカーを講師にヤングケアラーについて、研修を行った。 ③実績値：参加者44名	―	現状維持	毎年度、研修する対象を変更し、ヤングケアラーに関する理解が進むよう取り組んでいる。
2 子どもの人権	児童虐待の予防・防止	まるっとこどもセンター	関係部署担当職員向け ヤングケアラー研修	①対象：福祉関係職場の職員等 ②取組内容：ヤングケアラーに関する基礎知識の周知や実際の対応を想定したケース検討等を目的に、スクールソーシャルワーカーを講師に説明及びグループワーク形式の研修を実施した。 ③実績値：参加者39名	―	現状維持	支援の具体的な方法や機関連携の在り方についての意見交換、専門機関に関する情報提供の機会としている。
2 子どもの人権	・子どもの権利の啓発推進 ・児童虐待の予防・防止 ・暴力の予防に向けた教育・啓発の推進	放課後子ども課	留守家庭児童会室職員研修会	①対象：留守家庭児童会室職員（直営・委託事業者）、放課後子ども課職員 ②取組内容：「子どもの性被害の防止に向けて」という研修を実施した。 ③実績値：参加者数173名、実施回数1回	―	現状維持	・研修方法として、欠席した職員が視聴できるよう、当日研修の録画動画を課内で共有した。
2 子どもの人権	・子どもの権利の啓発推進 ・児童虐待の予防・防止 ・暴力の予防に向けた教育・啓発の推進	放課後子ども課	留守家庭児童会室職員研修会	①対象：留守家庭児童会室職員（直営・委託事業者）、放課後子ども課職員 ②取組内容：「子ども虐待防止に私たちができること－様々な課題を抱える児童や保護者への支援にあたる心構え－」をテーマに研修を実施した。 ③実績値：参加者数157名、実施回数1回		現状維持	・研修方法として、欠席した職員が視聴できるよう、当日研修の録画動画を課内で共有した。
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:子どもの権利の啓発推進 4:障害についての理解促進	公立保育幼稚園課	保育所等障害児保育実践者研修	①対象：就学前児童施設職員 ②取組内容：就学前児童施設職員を対象に、「さまざまなニーズをもつ子ども達とともにある集団づくり～就学後を見通して、今大切にすること②～」をテーマにWEB開催により研修を実施した。 ③実績値：1講座、参加者82名（公立47名、私立35名）	―	現状維持	各研修の対象を、所管する公立施設のみでなく、民間の就学前児童施設も対象とすることで、より広く子どもの人権や障害のある人の人権を考える機会を創設し、人権教育の充実を図っている。
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:子どもの権利の啓発推進 4:障害についての理解促進	公立保育幼稚園課	保育所等障害児保育担当保育士研修	①対象：就学前児童施設職員 ②取組内容：「目の前にいる子どもの思いを捉え、楽しむ保育とは」をテーマに対面により研修を実施した。 ③実績値：1講座、参加者56名（公立27名、私立29名）	―	現状維持	各研修の対象を、所管する公立施設のみでなく、民間の就学前児童施設も対象とすることで、より広く子どもの人権や障害のある人の人権を考える機会を創設し、人権教育の充実を図っている。
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:子どもの権利の啓発推進 4:障害についての理解促進	公立保育幼稚園課	公立保育教育等関連施設職員保健研修	①対象：公立保育教育等関連施設職員 ②取組内容：「就学前施設が医療的ケア児を受け入れていくために」をテーマに対面により研修を実施した。 ③実績値：1講座(枚方保育所にて実施) 参加者数62人（対面参加33名、オンライン参加29名）	―	現状維持	毎年度、保健についての理解促進に繋がるようなテーマ設定をしている
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:相談・支援体制の充実 4:相談・支援体制の整備・充実	公立保育幼稚園課	保健研修（中核市研修）	①対象：就学前児童施設職員 ②取組内容：保育現場における感染症対策を学び、保育現場での子どもの健康に関する困りごとや等を意見交換しながら医師からの意見を聞き、保育士・看護師等の資質の向上を図ることを目的とした研修を実施した。 ③実績値：1講座、参加者47名（公立18名、私立29名）	―	現状維持	各研修の対象を、所管する公立施設のみでなく、民間の就学前児童施設も対象とすることで、より広く子どもの人権や障害のある人の人権を考える機会を創設し、人権教育の充実を図っている。
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:子どもの権利の啓発推進 4:障害についての理解促進	公立保育幼稚園課	市町村保育担当職員等研修	①対象：大阪府及び府下中核市就学前児童施設職員 ②取組内容「令和7年度保育・教育実践交流会 第1部 実践からの気づき～人権保育は日々の保育の中に～」を実施した。 ③実績値：1回 参加者数20人	特定非営利活動法人 ちゃいるどネット大阪	現状維持	各研修の対象を、所管する公立施設のみでなく、民間の就学前児童施設も対象とすることで、より広く子どもの人権や障害のある人の人権を考える機会を創設し、人権教育の充実を図っている。
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:相談・支援体制の充実 4:相談・支援体制の整備・充実	市立ひらかた子ども発達支援センター	枚方市障害児等関係機関連絡会議機関向け研修	①対象：庁内外の保育・教育・療育等を担当する機関の職員 ②取組内容：障害児等が地域で活き活きと生活できる環境づくりを推進することを目的として、保育・教育・療育等を担当する機関が連携し、保育・教育・療育等の関係者を対象に「『子どものねがいを豊かにする学び』子どもの発達的理解と支援」をテーマに研修を実施した。 ③実績値：参加者数109人	・大阪府中央子ども家庭センター ・大阪精神医療センター ・大阪府立交野支援学校 ・大阪府立交野支援学校四條畷校 ・大阪府立枚方支援学校等	現状維持	
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:児童虐待の予防・防止 4:虐待防止の啓発推進	まるっとこどもセンター	関係機関向け研修	①対象：要対協構成機関の職員等 ②取組内容：児童虐待防止の周知・啓発を目的に関係機関を対象とした研修会を「 子どもの一時保護をめぐる実務と連携～一時保護の“前”と“後”に、私たちは何ができるのか～」 及び「ゲーム・インターネット依存の理解と対応」をテーマに、2回実施した。 ③実績値：参加者数延べ159人	―	現状維持	

基本方向1．人権教育の推進　（4）企業等における人権教育の充実

★:枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和7年度取組実績に掲載している項目↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R7年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 （基本方向4：関係団体、市民団体等との協働）	今後の方向 （令和8年度～）	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など	
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:子どもの権利の啓発推進 4:障害についての理解促進	放課後子ども課	留守家庭児童会室職員研修会	①対象：留守家庭児童会室職員（直営・委託事業者）、放課後子ども課職員 ②取組内容：「障害がある子どもや発達支援が必要な子どもとの関りについて」という研修を実施した。 ③実績値：参加者数168名、実施回数1回	—	現状維持	・研修方法として、欠席した全職員が視聴できるよう、当日研修の録画動画を課内で共有した。	
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:子どもの権利の啓発推進 4:障害についての理解促進	放課後子ども課	留守家庭児童会室職員研修会	①対象：留守家庭児童会室職員（直営・委託事業者）、放課後子ども課職員 ②取組内容：「発達や愛着に課題のある子どもの声をいかに聞くか」という研修を実施した。 ③実績値：参加者数165名、実施回数1回	—	現状維持	・研修方法として、欠席した全職員が視聴できるよう、当日研修の録画動画を課内で共有した。	
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:子どもの権利の啓発推進 4:障害についての理解促進	放課後子ども課	留守家庭児童会室職員研修会	①対象：留守家庭児童会室職員（直営・委託事業者）、放課後子ども課職員 ②取組内容：「学童保育における配慮を要する子どもについての理解と対応」という研修を実施した。 ③実績値：参加者数163名、実施回数1回	—	現状維持	・研修方法として、欠席した全職員が視聴できるよう、当日研修の録画動画を課内で共有した。	
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:・子どもの権利の啓発推進 ・暴力の予防に向けた教育・ 4:障害についての理解促進	放課後子ども課	留守家庭児童会室職員研修会	①対象：留守家庭児童会室職員（直営・委託事業者）、放課後子ども課職員 ②取組内容：「自傷・他害・パニックへの対応 お互いに傷つかないための支援介助法」という研修を実施した。 ③実績値：参加者数96名、実施回数1回	—	現状維持		
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権 7 外国人の人権 17 様々な人権問題	2:児童虐待の予防・防止 2:相談・支援体制の充実 4:障害についての理解促進 7:多文化についての理解促進 17:様々な人権問題についての理解促進	教育研修課	人権教育研修	①対象：枚方市立小中学校園教職員(人権教育担当者) ②取組内容： ・障害のある子どもたちの人権をめぐる現状や課題について理解を深め新しい気づきを得て、学校園の組織づくりの推進に資することをねらいとした研修を実施した。 ・人権尊重の精神を基盤として、すべての子どもたちの進路保障について理解を深め新しい気づきを得て、学校園の組織づくりの推進に資することをねらいとした研修を実施した。 ・現代社会が抱える課題の背景や社会課題について理解を深め、多文化共生について新しい気づきを得て、組織的に課題を解決していく学校園の組織づくりの推進に資することをねらいとした研修を実施した。 ③実績値：研修会を3回実施し、延べ262名受講		現状維持	人権に関する多様な課題についての教職員の理解を深めるため、研修のテーマを毎年変更していく必要がある。	★ (P.4)
2 子どもの人権 6 部落差別（同和問題） 12 性的マイノリティ（LGBT等）の人権 17 様々な人権問題	2:子どもの権利の啓発推進 2:児童虐待の予防・防止 6:部落差別（同和問題）についての理解促進 12:性の多様性についての理解促進 17:様々な人権問題についての理解促進	教育研修課	教職員研修	①対象：枚方市立小中学校園教職員（初任者・新規採用者・1年目小中学校講師・2年目教諭・7年目教諭・養護教諭・新任校長） ②取組内容：教職員研修計画に基づき、人権教育に関する研修を実施した。（法定研修として実施した研修を含む。） ③実績値：合計13回延べ320名受講		現状維持	全ての教職員が人権についての理解に基づいて教育活動に取り組めるよう、人権に関する教職員計画は継続していく必要がある。	★ (P.4)
2 子どもの人権 16 ひきこもりの状態にある人の人権	2:子どもの権利の啓発推進 16:ひきこもりに関する理解促進	まるっとこどもセンター	枚方市子ども・若者支援地域協議会合同研修会	①対象：枚方市子ども・若者支援地域協議会参画機関および、枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会のメンバー ②取組内容：「ひきこもり、不登校支援について～み・らいず2での取り組みを通して～」をテーマに、ひきこもり等の若者支援に関わる関係機関と家族会にて合同研修会を実施した。 ③実績値：参加者数31名	枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会	現状維持	不登校・ひきこもり家族会連絡会との合同研修会とすることで“当事者としての家族”の声や視点に触れる機会とした。	
4 障害のある人の人権	雇用・就業体制の支援	人権政策課	枚方事業所人権推進連絡会 総会研修会	①対象：枚方事業所推進連絡会の会員 ②取組内容：市内の事業所が加入している枚方事業所人権推進連絡会の総会において、障害者雇用への理解を深めるため、「枚方市の障害者雇用の取り組みについて」「障がい者雇用におけるコマツの取り組み」を事業者向けに実施した。 ③実績値：参加者21人	枚方事業所人権推進連絡会	現状維持		★ (P.5)
4 障害のある人の人権	4:障害についての理解促進	人事課 人権政策課	職員研修	①対象：次長・課長 ②取組内容：職員の人権意識の向上を図るため、次長・課長を対象に「障害者理解・合理的配慮について」をテーマに人権研修を実施した。また、人権について改めて深く考える機会を創出し、多種多様な人権について理解を深めるとともに、人権問題を自分事として捉え、行動できる人材を育成するため、研修内容を元に各職場において職場研修を実施した。 ③実績値：参加者数156人、実施回数3回	–	現状維持	・手話通訳の必要な職員の有無を確認し、必要な職員がいた場合には対応できる体制を整えた。 ・各課で職場研修を実施する際は、各職場の状況に応じて内容を工夫し、研修を実施した。	★ (P.5)
6 部落差別（同和問題） 7 外国人の人権	6:部落差別（同和問題）についての理解促進 7:多文化についての理解促進	人権政策課	枚方市人権擁護推進本部研修	①対象：人権擁護推進本部委員・幹事、市議会議員、市職員、希望する職員 ②取組内容：職員一人ひとりの人権意識の高揚を図ることを目的に、「多様性社会について考える～人権を尊重する、尊重される社会をめざして～」をテーマにした研修を実施した。 ③実績値：会場受講者 54人	—	現状維持	・手話通訳の希望があり対応した。 ・研修方法として、自席にて全職員が視聴できるよう、当日研修の録画動画を配信した。 ・講師の日程とエレベーター利用可能な会場確保の調整が難しく課題。	
6 部落差別（同和問題） 17 様々な人権問題	6:部落差別（同和問題）についての理解促進 17:様々な人権問題についての理解促進	人事課 人権政策課	人権研修	①対象：新任課長代理 ②取組内容：人権問題について当事者意識を持ち、相手の立場に立った行動・言動ができるよう人権感覚を養うとともに、課題解消に努めるべき管理職員として、本市の人権施策及び人権に関する知識をさらに深めることで、だれもが働きやすい職場環境の実現に資することを目的として、「わたしからはじまる人権」をテーマに人権研修を実施した。 ③実績値：参加者数25人、実施回数1回	一般財団法人 大阪府人権協会	現状維持	手話通訳の必要な職員の有無を確認し、必要な職員がいた場合には対応できる体制を整えた。	★ (P.5)

基本方向Ⅰ．人権教育の推進　（4）企業等における人権教育の充実

★:枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和7年度取組実績に掲載している項目↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R7年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 （基本方向4：関係団体、市民団体等との協働）	今後の方向 （令和8年度～）	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など	
6 部落差別（同和問題） 17 様々な人権問題	6:部落差別（同和問題）についての理解促進 17:様々な人権問題についての理解促進	人事課 人権政策課	人権研修	①対象：新任主査・主任 ②取組内容：各職員が人権課題について当事者意識をもち、相手の立場に立った行動・言動が当たり前にできるなどの人権感覚を養うことを目的として、新任主査及び新任主任を対象に「わたしからはじまる人権」をテーマに人権研修を実施した。 ③実績値：参加者数126人、実施回数4回	一般財団法人　大阪府人権協会	現状維持	手話通訳の必要な職員の有無を確認し、必要な職員がいた場合には対応できる体制を整えた。	★ (P.5)
6 部落差別（同和問題） 17 様々な人権問題	6:部落差別（同和問題）についての理解促進 17:様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	人権啓発等に関する講座・集会等への参加	①対象：市職員 ②取組内容：様々な人権問題を取り上げ、あらゆる差別の撤廃を目指す部落解放・人権夏期講座等の人権団体が主催する講座・集会へ参加した。 ③実績値：部落解放・人権夏期講座、部落解放研究全国集会には、延べ10部署から11人参加	―	現状維持	さまざまな部署の方が参加できるよう、部署ごとの輪番制で案内している。	
6 部落差別（同和問題）	部落差別（同和問題）についての理解促進	支援教育課	枚方市人権教育研究協議会 フィールドワーク・講演会	①対象：枚方市立小中学校園教職員（人権教育担当者） ②取組内容：姫路の太鼓屋六右衛門の杉本大士さんに部落問題における差別の現状について話を聞き、太鼓づくりを通して命の大切さを学ぶため、姫路市太鼓屋六右衛門にてフィールドワークを実施した。 ③実績値：参加者数20人	枚方市人権教育研究協議会	現状維持		
6 部落差別（同和問題） 15 インターネットによる人権侵害 17 様々な人権問題	6:部落差別（同和問題）についての理解促進 15:インターネット上の人権侵害に関する教育・啓発の推進 17:様々な人権問題についての理解促進	支援教育課	枚方市人権教育研究協議会 講演会	①対象：枚方市立小中学校園教職員（人権教育担当者） ②取組内容：「あたりまえ」ってほんとうにあたりまえ?～問い直す力が、人を守る力になる～ 講師：一尾茂疋さん 学校における教育の多様性を含めて学びの選択肢が増えている。地域で子どもたちを育てていく中での「あたりまえ」を見直すことはどういうことなのかをテーマに講演会を開催した。 ③実績値：参加者数80人	・枚方市人権教育研究協議会 ・特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会	現状維持		
7 外国人の人権	多文化についての理解促進	観光交流課	職員向け 国際理解講座	①対象：市職員 ②取組内容：日本国内及び枚方市で暮らす外国人の現状について知るとともに、やさしい日本語での窓口対応についてワークショップを行った。 ③実績値：参加者数41名	枚方市日本語ボランティアの会 公益財団法人 とよなか国際交流協会	現状維持	どんな言葉や表現が難しくて、どんな工夫をすれば伝わりやすいのか、日常での使用場面を想定した例題を用いて「やさしい日本語」での表現を考えた。	
8 HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権	HIV感染者・ハンセン病についての理解促進	保健予防課 健康づくり課	枚方市内健康優良企業へのHIV・エイズに関する啓発	①対象：ひらかた健康優良企業 ②取組内容：ひらかた健康優良企業として登録されている、従業員の健康づくりに取り組む企業に、世界エイズデーに合わせHIV・性感染症に関する情報提供を行った。 ③実績値：情報提供企業141社	ひらかた健康優良企業	現状維持	働く世代への啓発の手段として内容を工夫しながら取り組む必要がある。	
14 セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントなどのハラスメント	ハラスメント防止の啓発推進	コンプライアンス推進課	ハラスメント防止研修	①対象：正職員（入職3年目、課長、各課の職区分の異なる職員）、任期付職員及び会計年度任用職員等 ②取組内容：職員の意識啓発及びハラスメントの未然防止を図ることを目的にハラスメント防止研修を実施した。 ③実績値：参加人数 335人（内訳：正職員264人、任期付職員等71人）	―	現状維持	・集合研修では出席確認の際に、手話通訳の要否と配慮希望の自由記述欄を設け、受講者の希望に応じた対応を行った。 ・実施会場がエレベーターがない建物の場合は、1階の会議室を確保して研修を実施した。	★ (P.5)
14 セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントなどのハラスメント	14 ハラスメント防止の啓発推進	上下水道総務課	ハラスメント防止研修	①対象：上下水道局内 課長級以上の職員 ②取組内容：ハラスメント防止に関する注意喚起等の説明を行った。 ③実績値：参加者17人	―	拡充	手話通訳の希望があった場合には対応できる体制を整えた。	★ (P.5)
14 セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントなどのハラスメント 17 様々な人権問題	14:ハラスメント防止の啓発推進 17:様々な人権問題についての理解促進	市立ひらかた病院総務課	ハラスメント防止研修	①対象：市立ひらかた病院全職員 ②取組内容：ハラスメントの基礎（定義を含む）と実例紹介の講演.弁護士による実際に病院で起こった裁判事例などを学ぶ。（研修に参加できなかった職員には、別途研修用資料を配付し設問に回答するよう通知） ③実績値：参加者数531人（内 研修会参加者：80人）	―	現状維持		★ (P.5)
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	枚方事業所人権推進連絡会 会員研修会	①対象：枚方事業所推進連絡会の会員事業所 ②取組内容：多様な人材を採用し、協働することで、企業の人材不足の解消や従業員の早期離職防止を図るため、「多様な人材を確保・活用するために～講演と専門活動の窓口の紹介～」をテーマにした研修を実施した。 ③実績値：参加者10人	枚方事業所人権推進連絡会	現状維持		★ (P.5)
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	市立ひらかた病院総務課	新入職員・異動職員への市立ひらかた病院職員ハンドブックの配布と院長講話	①対象：市立ひらかた病院新入職員及び異動職員 ②取組内容：感染管理、防火・防災について（全職員）、ハンドブックの配布による患者の権利周知と取り組みについての院長講話を実施。 ③実績値：参加者数85人	―	現状維持		

基本方向Ⅰ．人権教育の推進　（5）参加・体験型学習の充実

★:枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和7年度取組実績に掲載している項目↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R7年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 （基本方向4：関係団体、市民団体等との協働）	今後の方向 （令和8年度～）	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など	
2 子どもの人権	・子どもの権利の啓発推進 ・いじめ防止に関する教育の推進	人権政策課	人権の花運動	①対象：小学１年生 ②取組内容：子どもたちが協力して花を育てることを通じて、「命の大切さ」や「相手への思いやり」の心をはぐくむことを目的に実施した。 ③実績値：対象校（香里小学校、船橋小学校、樟葉小学校 ）児童 250人	人権啓発活動大阪地域ネットワーク協議会	現状維持	花運動を通じて、相談窓口の案内を行い、児童が何かあればSOSを出せるよう心掛けている。	
2 子どもの人権	・子どもの権利の啓発推進 ・いじめ防止に関する教育の推進 ・児童虐待の予防・防止 ・暴力の予防に向けた教育・啓発の推進 ・相談・支援体制の充実	人権政策課	市内中学校スマホ人権教室	①対象：中学生 ②取組内容：スマートフォンの利用に関した危険やトラブルを未然に防ぐとともに、SNSや無料通信アプリを用したいじめなどの人権問題が発生した場合の、人権擁護機関の相談利用について周知を図ることを目的に実施した。 ③実績値：１中学校271名	・大阪法務局 ・大阪府人権擁護委員連合会	現状維持	スマホ教室を通じて、相談窓口の案内を行い、生徒が何かあればSOSを出せるよう心掛けている。	
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:・子どもの権利の啓発推進 ・いじめ防止に関する教育の推進 4:障害についての理解促進	人権政策課	体験型人権教室	①対象：児童 ②取組内容：障害のあるなしに関わらずプレーできるボッチャの体験と、社会福祉協議会によるアイマスク、白杖体験や人権教室などを実施した。 ③実績値：4小学校281名	・大阪第二人権擁護委員協議会 ・社会福祉法人　枚方市社会福祉協議会	現状維持	児童向け体験型人権教室教室を通じて、生徒が何かあればSOSを出せるよう心掛けている。	★ (P.5)
2 子どもの人権	子どもの権利の啓発推進	子ども青少年政策課	子どもを守る条例啓発事業	①対象：枚方まつり来場者 ②取組内容：条例の周知啓発及び子どもの意見表明として『枚方市にあなたの声を届けよう』と題して枚方まつりにブースを出展した。のぼりや啓発物品などを作成するとともに、簡易版リーフレットを作成し子どもに配布するなど、幅広い世代の市民に対し、子どもを守る条例の周知・啓発を行った。 ③実績値：大人544人、子ども536人　計1,080人	―	現状維持	条例リーフレットの簡易版を作成するとともに、希望があれば要約筆記対応できるようにした。	
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	文化生涯学習課	(A)夏休みこども教室 (B)健康講座　ボッチャにチャレンジ	①対象：市民 ②取組内容：多様性について理解を深める目的でパラリンピック種目である「ボッチャ」を体験。 ③(A)参加者数１１人、(B)参加者数１5人	－	現状維持	広く市民を対象とすることで、年齢にとらわれず楽しく交流しながら、スポーツの楽しさやあらゆる多様性について理解を深めるきっかけとなるよう工夫した。	
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	スポーツ振興課	スポーツチャレンジフェスタ	①対象：市民 ②取組内容：ミニパラ陸上チャレンジと題して、競技用義足装着体験、各種車いす体験、ハンドサイクル乗車体験を行い、体験を通じてパラスポーツの理解を深め、障害の有 無に関わらず楽しめるイベントを実施した。 ③実績値：参加者数336人	公益財団法人　枚方市スポーツ協会	現状維持		★ (P.5)
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	スポーツ振興課	トリプルバドミントン交流会	①対象：市民 ②取組内容：障害・年齢・性別等関係なく、「障害者・高齢者・健常者」や「子ども・若者・シニア」などいろんなトリプルで行うバトミントン大会を実施した。 ③実績値：参加者数47名	公益財団法人　枚方市スポーツ協会	現状維持		
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	障害企画課	枚方市障害者社会参加促進事業 （スポーツ講習会）	①対象：市内在住、在勤、在学の障害者（児）とその家族 ②取組内容：枚方市スポーツ協会への委託により、障害者社会参加促進事業スポーツ講習会を実施した。 ③実績値：参加人数　40人	公益財団法人　枚方市スポーツ協会	現状維持		
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	障害企画課	要約筆記体験講座	①対象：18歳以上の枚方市・寝屋川市・交野市の市民 ②取組内容：筆談の必要な聴覚障害及び中途失聴のある方への理解を深め、更に要約筆記の紹介や体験会を実施した。 ③実績値：修了人数　19人	・要約筆記サークル　パンピ ・寝屋川市、交野市と共同	現状維持		★ (P.11)

基本方向2．人権啓発の推進　（1）効果的な人権啓発事業の実施

★:枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和7年度取組実績に掲載している項目↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R7年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 （基本方向4：関係団体、市民団体等との協働）	今後の方向 （令和8年度～）	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など	
1 女性の人権	男女共同参画の視点を持った機会の充実	危機管理政策課	枚方市防災会議	①対象：枚方市防災会議委員（所属する機関・団体等を含む） ②取組内容：枚方市防災会議委員の任期満了や人事異動等に伴う後任の推薦依頼に際し、女性の積極的な推薦を呼び掛け、女性委員比率の向上を図った。 ③実績値：女性委員比率13%（39人中5人）	―	現状維持	法令で定められた機関・団体から委員の推薦を得る場合、実質的に充て職となり、女性委員比率の向上が困難なケースがある。	
1 女性の人権	男女共同参画等への理解促進	人権政策課	女性に対する暴力をなくす運動期間の平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のパープルライトアップ	①対象：市民 ②取組内容：女性に対する暴力をなくす運動期間（11月12日～25日）に合わせ、平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のパープルライトアップを実施。 ③実績値：実施回数2回	―	現状維持	ライトアップとともに、街頭啓発を実施し関心を寄せてもらえるように心掛けた。	
1 女性の人権	・男女共同参画等への理解促進 ・男女共同参画の視点を持った機会の充実	人権政策課	男女共同参画啓発講座【再掲】	①対象：市民 ②取組内容：性別にかかわりなく誰もが個人として尊重される男女共同参画社会の実現に向けた啓発事業として、 女性を対象とした起業セミナーや親子で学ぶ性教育、ワークライフバランスに関する講座や子育て中の父親を対象とした心理学講座等を実施した。 ③実績値：参加者数899人	―	現状維持	人権尊重の視点から男女共同参画社会を考える機会としている。	
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	・子どもの権利の啓発推進 ・障害についての理解促進	人権政策課	人権文化セミナー	①対象：市民 ②取組内容：広く市民に「人権の大切さ」を学ぶ機会を提供するため、美容師・理容師でNPO法人そらいろプロジェクト京都理事長の赤松隆滋さんによる講演会「スマイルカット～みんなの笑顔のヘアカット」を実施した。 ③実績値：参加者57人	特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会	現状維持	補聴システム、点訳資料を用意し、手話通訳、要約筆記及び保育の希望があった場合には対応できる体制を整えた。	★ (P.7)
2 子どもの人権	・子どもの権利の啓発推進 ・相談・支援体制の充実	子ども青少年政策課	市民啓発事業	①対象：市民 ②取組内容：気象予報士 防災士正木明 氏を講師に招き、「災害を自分ごと化する～未来を生きる為に、今知るべきこと～」をテーマに講演会を開催した。 ③実績値：一般94名、青少年育成指導員34名 計128名	枚方市青少年育成指導員連絡協議会	現状維持	手話通訳や車いす席の希望があった場合に対応できる体制を整えた。	
3 高齢者の人権	高齢者や認知症についての理解促進	教育政策課	社会教育（人権）講座	①対象：市民 ②取組内容：家族や支援者が高齢者に対する人権侵害に関する事例（高齢者虐待や介護虐待等）とその予防策を知り、どのように高齢者を守れるのか、また家族や支援者等の立場から、どのようにかかわっていくべきか考え、今後実践できる機会を提供することを目的に、「高齢者虐待を防ぐ～わたしたちができることを考える」をテーマにした講演会を実施した。 ③実績値：参加者数18人	―	現状維持	手話通訳や保育利用の希望があった場合には対応できる体制を整えた。また、講座開催のチラシ配布・配架やSNSの活用等、積極的な周知活動を行った。	★ (P.7)
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	障害支援課	枚方市障害者差別解消支援地域協議会の開催	①対象：障害者差別解消支援地域協議会委員 ②取組内容：協議会を開催し、障害者差別解消に関する研修などの取組の報告をはじめ、相談事例に関する意見交換や、改正障害者差別解消法に関する情報共有を実施した。 ③実績値：出席者19人	・特定非営利活動法人 パーソナルサポート ひらかた ・社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会 ・特定非営利活動法人 陽だまりの会 ・枚方市障害福祉サービス事業者連絡会 等	現状維持	視覚障害の委員については、会場まで迷わないように職員が付き添って案内し、知的障害の委員については、資料にひらがなのルビをふる等の合理的配慮に努めた。	
4 障害のある人の人権	虐待防止の啓発推進	障害支援課	枚方市障害者虐待防止関係機関会議の開催 障害福祉サービス事業者への周知、啓発	①対象：障害者虐待防止関係機関会議構成員 ②取組内容：協議会を開催し、障害者虐待への対応状況の説明や虐待事例として認定したケースに関する意見交換等を実施した。引き続き虐待事例に対する関係機関との連携、協力を依頼した。また、国や府からの障害者虐待に関する情報については、適宜事業者への周知等を行った。 ③実績値：出席者15人	・特定非営利活動法人 パーソナルサポート ひらかた ・社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会 ・特定非営利活動法人 陽だまりの会 ・枚方市障害福祉サービス事業者連絡会 等	現状維持	限られた時間の中で、数多くの虐待対応を検証することは困難であるため、別途検証の場を新たなに設定していく必要性が生じている。	
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	障害支援課	大阪ふれあいキャンペーン	①対象：市民 ②取組内容：障害者週間にあわせて、啓発活動を実施した。 ③実績値：クリアファイル270枚、折り紙1,000枚を配布	大阪ふれあいキャンペーン実行委員会	現状維持		
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	障害企画課	手話言語の国際デーの平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のブルーライトアップ	①対象：市民 ②取組内容：「手話言語国際デー」である9月23日に手話言語への意識を高め、また手話言語に対する理解の普及を目的に、ニッペパーク岡東中央の平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）を青色にライトアップを実施した。 ③実績値：実施日 令和7年9月23日	―	現状維持		
7 外国人の人権	多文化についての理解促進	中央図書館	多言語で楽しむおはなし会	①対象：市民 ②取組内容：広東語と英語による絵本の読み聞かせと、香港とアメリカの紹介 ③実績値：参加者数29人	―	現状維持	関西外国語大学の留学生を講師とし、読み聞かせは同時に日本語でも行った。市内図書館、大阪府立中央図書館から、英語と中国語(広東語)の絵本を集めて展示を行った。 日本語以外の様々な母語の絵本の読み聞かせや国・文化の紹介ができる講師をみつけることが課題である。	
7 外国人の人権問題	多文化についての理解促進	人権政策課	人権週間事業	①対象：市民 ②取組内容：広く市民の人権意識の高揚を呼びかける人権週間事業の一環としてシンガーソングライター・安田女子大学非常勤講師による講演会「『命の参観日～ありがとう、ごめんなさい、大好き～』を開催した。 ③実績値：参加者128人	特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会	現状維持		

基本方向2．人権啓発の推進　（1）効果的な人権啓発事業の実施

★:枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和7年度取組実績に掲載している項目↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R7年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 （基本方向4：関係団体、市民団体等との協働）	今後の方向 （令和8年度～）	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など	
9 新たなウイルス等感染症感染者や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権	感染症についての理解促進	保健予防課	塩野義製薬株式会社との感染症対策の支援・啓発に係る連携協定	①対象：市民 ②取組内容：大阪・関西万博の開催にあわせて、大規模イベント参加時の感染症対策に関するリーフレットを作成。リーフレットは枚方市薬剤師会との覚書に基づき、市内全薬局に配布。枚方市健康・医療・福祉フェスティバル等のイベント、市内小中学校の教職員に配布。また、市内小中学校の保護者へリーフレットのデータ配信。市ホームページに掲載。 ③実績値：発行部数約45,000部（データ配信含む）	塩野義製薬株式会社	現状維持	専門用語はできるだけ使用せず、市民にわかりやすい表現となるように内容を検討した。また、おくすり手帳とセットで保管できるようにA6サイズとした。	★(P.12)
12 性的マイノリティ（LGBT等）の人権	性の多様性についての理解促進	人権政策課	映画上映会 ウィルdeシネマ	①対象：市民 ②取組内容：性の多様性に対する理解促進を図るため、男女共生フロア・ウィルの映画上映会「ウィルdeシネマ」において、自分の性自認に迷う子どもの葛藤と寄り添う家族の物語「ミツバチと私」を上映し、啓発に取り組んだ。 ③実績値：参加者数147人	―	現状維持	人権尊重の視点から性の多様性に対する理解促進を図る機会としている。	★(P.7)
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	憲法のつどい 講演会・憲法前文朗読動画の上映	①対象：市民 ②取組内容：憲法の理念を広く市民に啓発する取組として、人権や平和の大切さを考えてもらうことを目的に、落語家の笑福亭鶴笑さんによる講演会「笑いは世界の共通語」を実施した。また、枚方第二小学校児童による日本国憲法前文の朗読動画の上映も行った。 ③実績値：参加者 168人	―	現状維持	補聴システム、点訳資料を用意し、手話通訳、要約筆記及び保育の希望があった場合には対応できる体制を整えた。	
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	北朝鮮人権侵害問題啓発週間の平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のブルーライトアップ	①対象：市民 ②取組内容：北朝鮮人権侵害問題啓発週間（12月10日～16日）に合わせ、平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のブルーライトアップを行った。 ③実績値：実施日 令和7年12月10日	―	現状維持	ライトアップとともに、街頭啓発を実施し関心を寄せてもらえるように心掛けた。	★(P.8)
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	北朝鮮人権侵害問題啓発週間のデジタルサイネージ放映	①対象：市民 ②取組内容：北朝鮮人権侵害問題啓発週間（12月10日～16日）に合わせ、府で作成した啓発用デジタルサイネー ジ画像の放映を行った。 ③実績値：本庁舎内 6か所、庁舎外 10か所	大阪府人権局人権企画課	現状維持	庁舎外に設置したモニターで放映することで、市役所や枚方市駅周辺に来ない方にも関心を寄せてもらえるように心掛けた。	
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	人権週間街頭啓発	①対象：市民 ②取組内容：12月の人権週間（12月4日～10日）に合わせ、枚方市駅・樟葉駅・長尾駅で街頭啓発を実施し、啓発グッズやリーフレットの配布などを行った。 ③実績値：配布物品数 800セット	・特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会 ・枚方地区人権擁護委員会 ・枚方事業所人権推進連絡会	現状維持	人権週間の意義について、市、特定非営利活動法人、事業所が連携して広く啓発を図るようにした。	
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	拉致問題を考えるパネル展	①対象：市民 ②取組内容：北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業の一環として、啓発パネルの展示や日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」DVDの上映を行った。 ③実績値：実施日 令和7年12月4日	特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会	現状維持	同時上映のDVDには字幕を付けるなど、拉致問題に関心を寄せてもらえるにした。	

基本方向2．人権啓発の推進　（2）様々な媒体による学習機会の拡充と人権啓発の推進

★:枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和7年度取組実績に掲載している項目↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R7年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 （基本方向4：関係団体、市民団体等との協働）	今後の方向 （令和8年度～）	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など	
1 女性の人権 2 子どもの人権 6 部落差別（同和問題） 7 外国人の人権 10 犯罪被害者やその家族等の人権 13 職業や雇用をめぐる人権 17 様々な人権問題	1:・男女共同参画等への理解促進 ・DV防止に関する理解促進 2:・子どもの権利の啓発推進 ・いじめ防止に関する教育の推進 6:部落差別（同和問題）についての理解促進 7:ヘイトスピーチに対する啓発推進 10:犯罪被害者等の人権についての理解促進 13:職業や雇用についての環境づくりの促進 17:様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	広報ひらかたに啓発コラムや記事の掲載	①対象：市民 ②取組内容：人権問題が身近にあることを周知するため、広報ひらかたに「ひこぼしくんの人権コラム」を1回掲載した。また、各人権問題の啓発月間等に啓発記事を掲載した。 ③ ・ひこぼしくんの人権コラム「ビジネスと人権」 ・広報記事『6月23日～29日は男女共同参画週間』、『しない！させない！身元調査』、『6月は「就職差別撤　廃月間」』、『こどもの人権110番』、『いじめ未然防止啓発月間』、『部落差別につながる調査の依頼は許されません』、『女性に対する暴力をなくす運動』、『ヘイトスピーチゆるさへん！』、『12月4日～10日は 人権週間』『12月10日～16日は北朝鮮人権侵害問題啓発週間』	―	現状維持	令和4年6月に策定した「枚方市人権尊重のまちづくり基本計画」に取り上げたさまざまな人権課題をわかりやすく市民に伝えるため、コラム形式で広報ひらかたで紹介した。	★ (P.8)
2 子どもの人権	児童虐待の予防・防止	まるっとこどもセンター	子育て支援講座	①対象：枚方市民 ②取組内容：児童虐待防止の周知・啓発を目的に「ゲーム・ネット依存を理解しよう～「やめたくてもやめられない」メカニズムとアプローチ」をテーマに、子育て支援講座を実施した。 ③実績値：参加者数78人	―	現状維持	子育て中の方が参加しやすいように子どもの預かりを可能とした。	
5 こころの病（うつ病など）に関する人権	・こころの病（うつ病など）についての理解促進 ・相談・支援体制の整備・充実	保健医療課	自殺予防週間および自殺対策強化月間の普及啓発	①対象：市民 ②取組内容：自殺予防週間（9月10日～16日）、及び自殺対策強化月間（3月）に合わせて、広報、デジタルサイネージ、ホームページ、SNS発信にて普及啓発を実施。いのちのホットライン等、相談窓口の周知。 ③実績値：関係各所にてポスター掲示を依頼 （自殺予防週間25カ所、自殺対策強化月間36カ所）	枚方市社会福祉協議会へ委託あり 大阪府自殺対策強化事業補助金	現状維持		
8 HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権	HIV感染者・ハンセン病についての理解促進	健康福祉政策課	ハンセン病問題解決に係る啓発	①対象：市民 ②取組内容：ホームページで周知・啓発の実施や、関係課の窓口へのリーフレットの配架のほか、枚方市健康・医療・福祉フェスティバルにおいても周知・啓発を行った。 ③実績値：枚方市健康・医療・福祉フェスティバルにおけるブース来場者数330人	大阪府	現状維持		
8 HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権	HIV感染者・ハンセン病についての理解促進	保健予防課	HIV検査普及週間・世界エイズデーに合わせた京阪枚方市駅でのデジタルサイネージ	①対象：枚方市駅を利用する市民 ②取組内容：HIV検査普及週間および世界エイズデーの時期に合わせて枚方市駅中央改札口にてポスターを掲示し啓発を実施。 ③実績値：実施日　令和7年6月2日～8日、12月1～7日	株式会社　京阪エージェンシー	現状維持	デジタルサイネージは画面が固定ではないため目立たないとの意見があり、令和7年度はHIV検査普及週間・世界エイズデーどちらもポスターによる啓発を実施し、枚方市駅を利用する幅広い世代の方に啓発ができた。	
8 HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権	HIV感染者・ハンセン病についての理解促進	保健予防課	世界エイズデーの啓発	①対象：市民、市職員 ②取組内容：広報ひらかた、SNS、市職員用掲示板、ホームページを用いてHIV・エイズの知識・検査の普及を行った。 ③実績値：広報ひらかた6月号・12月号に掲載、12月市公式SNSにて発信、12月市職員向けに掲示板で発信。	―	現状維持	・ホームページでは世界エイズデーの啓発と合わせて、大阪府・政令中核市で取り組んでいる啓発活動（大阪城ライトアップ等）についても周知した。	
13 職業や雇用をめぐる人権	職業や雇用についての環境づくりの促進	人権政策課	就職差別撤廃街頭啓発	①対象：市民、枚方事業所推進連絡会の会員 ②取組内容：6月の就職差別撤廃啓発月間に合わせ、枚方市駅周辺で街頭啓発を実施し、啓発グッズの配布を行った。また、枚方事業所人権推進連絡会の会員事業所に啓発リーフレットを配付した。 ③実績値：配布物品数 500個	・特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会 ・枚方事業所人権推進連絡会	現状維持	就職差別の撤廃について、雇用主（事業所）、市、府、国が連携して広く啓発を図るようにした。	★ (P.8)
16 ひきこもりの状態にある人の人権	ひきこもりに関する理解促進	まるっとこどもセンター	子ども・若者支援講演会	①対象：ひきこもり等の子ども・若者本人とその家族、支援者、子ども・若者支援に関心のある方。 ②取組内容：ひきこもり等の状態にある子ども・若者の理解を深め、支援について周知・啓発するため「ひきこもりと家族の回復～生きづらさとどう向き合うか～」をテーマに市民講座を実施。会場での開催と動画による配信を行った。 ③実績値：参加者数 会場開催65人、動画申込180人	―	現状維持	さまざまな事情で当日会場に来られない方も参加できるよう、後日動画による配信も行った。 また、広くひきこもりについて理解を進めるため、子ども・若者支援の他の事業とは異なる年齢層を対象としたテーマ設定とした。	★ (P.8)

基本方向3．人権相談・支援体制の充実　（1）人権相談

★:枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和7年度取組実績に掲載している項目↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R7年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 （基本方向4：関係団体、市民団体等との協働）	今後の方向 （令和8年度～）	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など	
1 女性の人権	男女共同参画の視点を持った機会の充実	人権政策課	女性相談・男性相談	①対象：市民 ②取組内容：男女共生フロア・ウィルにおいて、女性を対象に電話相談、面接相談、法律相談を実施した。また、相談につながりにくい男性の利便性向上に向け、時間帯等に配慮した男性のための電話相談を実施した。 ③実績値：電話相談414件、面接相談365件、法律相談96件、男性相談(電話)16件	特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会	現状維持		
1 女性の人権	DV防止に関する理解促進	人権政策課	枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」	①対象：配偶者やパートナーから様々な暴力等を受けて悩んでいる方 ②取組内容：DV被害者の専門相談窓口である枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」において 関係機関と連携し、DVの早期発見、相談から安全確保、自立支援まで、被害者への切れ目のない支援を行った。 ③実績値：相談件数；1,616件（面接・電話）	―	現状維持		★ (P.9)
1 女性の人権 2 子どもの人権 5 こころの病（うつ病など）に関する人権	1:男女共同参画等への理解促進 2:相談・支援体制の充実 5:・こころの病（うつ病など）についての理解促進 ・相談・支援体制の整備・充実	まるっとこどもセンター	妊婦オンライン相談	①対象：妊婦またはその家族 ②取組内容：妊娠経過や産後に関する不安や悩み等の相談をオンラインにて実施した。 ③実績値：オンライン面談実施件数 100件	―	現状維持	・相談実施時は、相談者のプライバシーに配慮し対応した。 ・必要に応じて保健師や助産師による訪問などに繋ぎ、産後も継続した支援を行った。	
2 子どもの人権	相談・支援体制の充実	人権政策課	いじめ相談窓口	①対象：枚方市内の小中学校児童生徒及びその保護者 ②取組内容：児童・生徒へお手紙相談用紙を配布し、電話や手紙等にて相談を実施した。相談者に寄り添った傾聴 や助言を行い、相談者が希望した場合は、学校での面談等も行った。必要に応じ、事案について学校や教育委員 会等の関係機関と情報共有を行いながら対応した。 ③実績値：相談件数延べ149件	―	現状維持	手紙相談において、学齢別に3パターンの用紙を作成し、それぞれ使用する言葉やふりがなの有無などを工夫した。	
2 子どもの人権	相談・支援体制の充実	まるっとこどもセンター	ひとり親家庭応援ガイド・LINE相談	①対象：ひとり親の方、これからひとり親になるかもしれない方 ②取組内容：簡単な質問に答えるだけで家庭の状況に応じた支援制度や手続きが検索できる「ひとり親家庭応援ガイド」及びひとり親家庭相談支援センターの相談員に直接LINEで悩みを相談できる「ひとり親相談LINE」にて相談受付 ③実績値：ひとり親相談LINE利用件数（アクセス数） 529件、ひとり親家庭応援ガイド利用件数918件	―	現状維持	いつもでも情報収集や相談ができる機会の確保に努めた。	
2 子どもの人権	相談・支援体制の充実	まるっとこどもセンター	ひとり親家庭日曜日（祝日）の特別相談	①対象：ひとり親の方、これからひとり親になるかもしれない方 ②取組内容：平日に来所することが難しい家庭のために、8月の日曜日と2月の祝日に相談窓口を開催。 ③実績値：開催回数2回	―	現状維持	平日に参加できないひとり親の方のために休日に開催した。	
2 子どもの人権	相談・支援体制の充実	児童生徒課 まるっとこどもセンター	子ども相談チャットアプリ「ぽーち」を活用した子どものSNS相談事業	【気持ちの可視化】 ①対象：市立小中学校の児童・生徒 ②取組内容：一人一台配付されているタブレット端末で、その日の気持ちを選択し、登録し、児童・生徒による日々の気持ちの振り返り等。教職員が視覚化された児童・生徒の心情の変化を把握し、各々に応じた支援の実施等。 ③実績値：市立小中学校の全児童・生徒 【SNS相談】 ①対象：(1) 市立小中学校の児童・生徒ならびに (2) 枚方市内に在住、在学、在勤している18歳以下の子ども ②取組内容：専門の相談員による相談対応 ③実績値：相談件数 (1) 7,760件、(2) 75件	―	現状維持	・気軽に相談できるよう匿名での相談を実施し、いつでも相談ができる機会の確保に努めた。 ・教育委員会としては、各学校にささいな変化を見逃さない体制づくりを行うことを指示しており、そのための効率的なツールとして、本アプリの効果的な使い方事例とともに、学校に伝えた。	
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:相談・支援体制の充実 4:相談・支援体制の整備・充実	市立ひらかた子ども発達支援センター	保育所・通所施設巡回相談	①対象：障害や発達上支援の必要がある児やその保護者 ②取組内容：心理職による保育所、幼稚園等への巡回相談・保育相談等を行う。 ③実績値：保育所、幼稚園等への巡回相談・保育相談を延べ1,550件、市立ひらかた子ども発達支援センターでの発達相談を204件実施した。	―	現状維持		
2 子どもの人権 16 ひきこもりの状態にある人の人権	2:相談・支援体制の充実 16:相談・支援体制の充実	子ども青少年政策課	青少年相談	①対象：(令和6年度までは概ね26歳までの青少年及びその保護者を対象としていたが)令和7年度より概ね39歳までの青少年及びその保護者等を対象に拡充した。 ②取組内容：悩み（いじめ、不登校、ひきこもり、中途退学、人間関係等の青少年相談全般）の早期解決に向けて専門の相談員が対応する。 ③実績値：面接相談52件、電話相談21件 、計73件	―	現状維持	青少年相談は事前予約制であるが、緊急を要する場合は、センターから相談員に連絡し、臨機応変に早急な対応を行った。39歳までの青少年及び保護者に拡充し、相談員による本人、もしくは保護者対応を行い、青少年の様々な問題解決へ向けて早期に取り組んだ。青少年や保護者が気軽に相談できる「青少年相談」やサポート講座（年1回開催）を引き続き実施していく。	
3 高齢者の人権	高齢者や認知症についての理解促進	健康福祉政策課	高齢者見守り110番事業	①対象：高齢者（要援護者）の見守り活動「高齢者見守り110番」へのご協力業者 ②取組内容：支援を必要とする高齢者を早期に発見し相談につなげるため、地域包括支援センターが中心となり各協力店舗とのネットワークにより連携し、取り組んだ。 ③実績値：協力事業社累計数879社	地域包括支援センター	現状維持		★ (P.11)
4 障害のある人の人権	相談・支援体制の整備・充実	障害企画課	障害者相談支援事業	①対象：相談を希望する市民（保護者、障害者、障害児） ②取組内容：障害のある人やその家族に対して、障害福祉サービスの利用援助、専門機関等の情報提供及び権利擁護などを行った。 ③実績値：事業所 市内7カ所	市内7か所の事業所	現状維持		
5 こころの病（うつ病など）に関する人権	相談・支援体制の整備・充実	保健医療課	こころの健康相談	①対象：市民 ②取組内容：こころの健康に関する相談について、電話、面接、訪問等で支援を実施。 ③実績値：延べ3，784件	―	現状維持		
5 こころの病（うつ病など）に関する人権	相談・支援体制の整備・充実	障害企画課	こころの電話相談	①対象：心に悩みのある市民 ②取組内容：心に悩みのある人への電話相談を行った。 ③実績値：件数 3,500件 開所日数 362日	社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会	現状維持		★ (P.9)

基本方向3．人権相談・支援体制の充実　（1）人権相談

★:枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和7年度取組実績に掲載している項目↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R7年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 （基本方向4：関係団体、市民団体等との協働）	今後の方向 （令和8年度～）	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など	
7 外国人の人権	相談・支援体制の整備・充実	観光交流課	外国人のための1日相談会	①対象：外国人、外国にルーツのある人、外国人から相談を受けることのある人、外国人労働者を雇用する企業 ②取組内容：外国人が日本の生活の中で抱える問題を、多言語で相談できる場を提供するため、広聴相談課と連携し、相談会を開催。 ※令和8年度から、広聴相談課が多言語対応の相談窓口を新たに開設することに伴い、相談会についても同課にて実施するため、観光交流課での対応は「終了（完了）」とする。 ③実績値：22件	ー	終了（完了）	12月と2月の計2回開催したが、相談者が参加しやすいように各回の間隔をあけるなど開催月の設定が課題。	★ (P.9)
11 ホームレスの人権	相談・支援体制の整備・充実	健康福祉総合相談課	ホームレス巡回相談指導事業	①対象：ホームレス状態にある方 ②取組内容：対象者の巡回相談を実施し、健康や生活状況を見守りながら、医療機関の紹介、仕事探しのお手伝い、借金問題の相談、生活保護等各種制度活用に関する助言等、ホームレス状態からの脱却に向けた相談・支援を実施。 ③実績値：相談・支援回数0	社会福祉法人　大阪府社会福祉協議会	現状維持	対象者の人権が配慮されるよう、あらゆる観点から支援している。	
12 性的マイノリティ（LGBT等）の人権	相談・支援体制の整備・充実	人権政策課	LGBTQ＋電話相談	①対象：LGBTQ＋当事者や家族など ②取組内容：LGBTなどの性的マイノリティに関する専門電話相談を月1回実施。 ③実績値：13件	特定非営利活動法人　QWRC	現状維持		
14 セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントなどのハラスメント	相談・支援体制の整備・充実	コンプライアンス推進課	ハラスメント苦情相談制度の運営	①対象：全職員 ②取組内容：すべての職員が個人として尊重され、互いに信頼し合い、安心して働ける職場環境づくりを目的に、ハラスメント苦情相談員の配置及び外部相談窓口の設置により、ハラスメント苦情相談を受け付け、解決に向けた対応を行った。 ③実績値：相談件数等は非公開	・弁護士法人きっかわ総合法律事務所 ・株式会社ウィメンズカウンセリング京都	現状維持	事案ごとに相談者の希望に沿った対応を行った。	
16 ひきこもりの状態にある人の人権	相談・支援体制の整備・充実	健康福祉総合相談課	生活困窮者自立相談支援機関におけるひきこもり相談	①対象：全ての世帯 ②取組内容：全ての世帯を対象に、ひきこもり状態にある方やその家族等からの相談を確実に受けとめ、必要に応じて関係機関や窓口と連携し、支援に関する情報の共有を行った。 ③実績値：不明	ひきこもり等子ども・若者相談支援センター	現状維持	対象者の人権が配慮されるよう、あらゆる観点から支援している。	
16 ひきこもりの状態にある人の人権	相談・支援体制の充実	まるっとこどもセンター	市民向け当事者会	①対象：ひきこもり状態であったり、対人関係の難しさを感じているなど、さまざまな生きづらさを抱えている女性 ②取組内容：【第1部】ひきこもり経験者の「体験談トーク」、【第2部】当事者・経験者のみのグループトーク ③実績値：参加者数【第1部】31人、【第2部】15人	―	現状維持	参加者が安心して交流できる機会とするため、事前申し込みなし、途中参加・退室ありとし、休憩スペースを設置するなど会場の雰囲気づくりなどにも配慮した。	
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	人権擁護委員による人権相談	①対象：市民 ②取組内容：毎週月曜日9時～12時で人権擁護委員による人権相談を実施した。また、6月と12月には特設相談窓口を設けた。 ③実績値：実施件数44回	枚方地区人権擁護委員会	現状維持	毎週月曜日の定例相談は広聴相談課にて、特設相談は枚方市駅周辺で行うなど、市民に身近な相談場所として実施している。	
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	人権なんでも相談	①対象：市民 ②取組内容：人権相談事業を特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託し、市民からの人権に関する相談に応じた。人権侵害を受け、又はその恐れがある場合、相談内容に応じて、助言及び情報提供を行うとともに、自ら問題解決できるよう支援を行った。 ③実績値：相談件数 288件	特定非営利活動法人　枚方人権まちづくり協会	現状維持	電話や面談だけでなく、メールやFaxによる相談も受け付け、相談内容に応じて関係機関につなぐようにしている。	★ (P.9)

基本方向3．人権相談・支援体制の充実　（2）支援体制

★:枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和7年度取組実績に掲載している項目↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R7年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 （基本方向4：関係団体、市民団体等との協働）	今後の方向 （令和8年度～）	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など	
1 女性の人権	被害者支援体制の充実	人権政策課	DV被害から回復するための教育プログラム	①対象：枚方市配偶者暴力相談支援センターで相談を受理したDV被害者 ②取組内容：DV被害者を対象に、DV被害から回復するための教育プログラム「わがままステーション」を実施。 ③実績値：参加者数25人（延べ）	―	現状維持	わがままステーションの周知を行い、新規の参加者を増やす。	
1 女性の人権	男女共同参画等への理解促進	人権政策課	生理用品の無償配置	①対象：女性 ②取組内容：身体的性差への理解促進を図るとともに、その性差を踏まえ女性の負担軽減を目的として、市役所庁舎等での生理用品を無償配置した。 ③実績値：市公共施設32施設	―	現状維持	人権尊重の視点から「生理の貧困」への対応策を講じている。	
1 女性の人権 2 子どもの人権 3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権 9 新たなウイルス等感染症感染者や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権	1:被害者支援体制の充実 2:相談・支援体制の充実 3:相談・支援体制の充実 4:相談・支援体制の整備・充実 9:相談・支援体制の整備・充実	危機管理対策推進課	要配慮者が安心して避難生活ができる避難所運営	①対象：要配慮者 ②取組内容：要配慮者が安心して避難生活が送れるように、簡易ベッド・パーティションを第1次避難所に配備した。 ③実績値：第1次避難所への配備率100%（52箇所中52箇所）	―	現状維持		
2 子どもの人権	子どもの権利の啓発推進	健康福祉政策課	ひらかたポイントによる子ども食堂への寄附	①対象：子ども青少年政策課が取組む「子どもの居場所づくり推進事業」の補助対象団体のうち、ひらかたポイントの寄附を受け入れている団体 ②取組内容：ひらかたポイント利用者がひらかたポイント（1ポイント=1円）を子ども食堂に寄付できるよう、システ ム構築している。 ③実績値：令和7年度のひらかたポイント利用者からの寄附総額134,647ポイント	―	現状維持		
2 子どもの人権	相談・支援体制の充実	子ども青少年政策課	子どもの居場所づくり（「子ども食堂」）助成	①対象：食事の提供により子どもたちを見守る活動（いわゆる「子ども食堂」）に取り組む団体 ②取組内容：31団体に対し、補助金を交付した。 ③実績値：実施回数 608回、1回あたりの子どもの平均参加者数 45.0人	―	拡充		
2 子どもの人権	相談・支援体制の充実	子ども青少年政策課	子ども応援ごはんプロジェクトへの協力	①対象：三季休業期に経済的な事情や保護者の疾病などで昼食を食べたくても食べられない小中学生 ②取組内容：学校給食のない三季休業期に、市内の協力飲食店において無料で昼食を提供する公益財団法人クジラ育英会主催のプロジェクトへの連携協力 ③実績値：夏休み・冬休み・春休みに実施	公益財団法人クジラ育英会 枚方市商業連盟	現状維持		★ (P.12)
2 子どもの人権	児童虐待の予防・防止	まるっとこどもセンター	乳児家庭全戸訪問事業	①対象：生後4か月未満の乳児のいる全ての家庭 ②取組内容：保健師、助産師により家庭訪問を行い、子育てに関する不安や悩み等に対応し、また子育てに関する様々な情報提供を行う。 ③実績値：情報提供回数2,185件	大阪府助産師会	現状維持	家庭訪問時には、子どもの発育・発達の確認を行うとともに、子育てに関する不安や悩みに対応し情報提供を行うとともに、必要に応じて、家庭訪問の継続につなげた。	★ (P.11)
2 子どもの人権	相談・支援体制の充実	私立保育幼稚園課	医療的ケア児保育支援事業費補助	①対象：私立保育所（園） ②取組内容：日常的に医療的ケアを必要とし、保護者の就労などにより保育が必要な児童の受け入れを促進するための補助を行った。 ③実績値：補助 2施設において計2人	・私立保育所（園） ・認定こども園 ・小規模保育事業実施施設	現状維持	医療的ケア児を受け入れた施設に対し、看護師等を配置した際の人件費に係る補助を行った。令和4年度に策定した医療的ケア児の受け入れに関するガイドラインを基に、児童受入れに関する検討会議を開催し、外部有識者の意見も踏まえながら入所可否の検討を行った。	
2 子どもの人権	相談・支援体制の充実	私立保育幼稚園課	ファミリーサポートセンター事業	①対象：子育て家庭 ②取組内容：子どもの送迎や預かりなど、子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と援助を行いたい人（提供会員）が会員となり、地域で有償の相互援助活動を行った。 ③実績値：依頼会員3,438人、提供会員411人、両方会員88人、相互活動件数5,989件	、	現状維持	子育て家庭が依頼会員となるにはファミリーサポートセンターでの対面での会員登録が必要だが、市内のどの地域に住む家庭でも登録がしやすいよう生涯学習市民センターなど市内各地で出張登録会を開催した。	
2 子どもの人権	相談・支援体制の充実	私立保育幼稚園課 公立保育幼稚園課	病児保育事業	①対象：保育所（園）等や一時預かり事業を利用している児童 ②取組内容：病気のため保育所（園）等を休まなければならない時に、医療機関に併設した保育室で一時的に保育を行った。 ③実績値：1施設（公立のみ） 利用者数:820人 3施設（私立のみ） 利用者数:2,711人	・保坂小児クリニック（くるみ） ・田辺こどもクリニック（ピッコロケアルーム） ・にしだ小児クリニック（クオレ） ・市立ひらかた病院（枚方市病児保育室）	公立：現状維持 私立：拡充	保育所等を利用している児童が病気のために保育所等を休まなければならない場合に、医療機関に併設した保育室で一時的に保育することで、児童の体調に関わらず保育の提供を行っている。	
2 子どもの人権	相談・支援体制の充実	まるっとこどもセンター	ひとり親家庭向け就業支援講習会	①対象：ひとり親家庭の親及び寡婦 ②取組内容：就業・自立支援センター（大阪府母子寡婦福祉連合会へ委託）において、パソコン初級講座、介護職員初任者研修等の受験対策等全12講座の就業自立支援講習会を実施 ③実績値：受講者数 10人	大阪府母子寡婦福祉連合会 就業・自立支援センター	現状維持	ひとり親家庭の親等について、相談や講習会に参加できる機会を確保し、技能の取得をすることで就労につながり、安定した生活ができるように努めた。	
2 子どもの人権	児童虐待の予防・防止	まるっとこどもセンター	枚方市ヤングケアラー等世帯訪問支援事業	①対象：概ね18歳までの子どもを含む世帯のうち、支援が必要なヤングケアラーがいる世帯 ②取組内容：家事援助及び育児援助を行う訪問支援員を派遣 ③実績値：利用実績回数 357回	―	現状維持	家事援助及び育児援助を行う訪問支援員を派遣し、世帯の家事・育児支援等の支援を提供し、子ども及びその世帯の負担軽減を図った。	

基本方向3．人権相談・支援体制の充実　（2）支援体制

★:枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和7年度取組実績に掲載している項目↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R7年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 （基本方向4：関係団体、市民団体等との協働）	今後の方向 （令和8年度～）	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など
2 子どもの人権	児童虐待の予防・防止	児童生徒課	子どもの見守り体制の確立 （児童虐待、子どもの貧困、ヤングケアラー）	①対象：枚方市立小中学校 ②取組内容：児童虐待の防止にあたり、児童・生徒が相談しやすい体制を構築するとともに、児童・生徒や保護者の状況把握と、未然防止、早期発見・早期対応に取り組んだ。また、その際には、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等の専門家や関係機関との連携を図った。 ③実績値：スクールソーシャルワーカー活動回数 2,399回、スクールカウンセラー活動回数 1,171回	―	拡充	・学校現場での専門職の介入により、福祉的支援が必要な家庭の早期発見や支援に努め、こどもたちの学ぶ権利を保障できる取り組みを進めている。 ・月1回、中学校と関係諸機関との連絡会を開催し、子どもたちの見守り体制の構築強化を図っている。 ・学校へまるっとこどもセンターとの連携を促し、複合的な課題を抱えている家庭の養育的環境が整うようにしている。
2 子どもの人権 3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権 7 外国人の人権 12 性的マイノリティ（LGBT等）の人権	2:相談・支援体制の充実 3:相談・支援体制の充実 4:相談・支援体制の整備・充実 7:相談・支援体制の整備・充実 12:相談・支援体制の整備・充実	市駅周辺まち活性化部	新庁舎の整備に向けた検討	①対象：新庁舎の利用者 ②取組内容：高齢者、障害のある人、子育て世帯、外国人、LGBTQ+等多様な利用者に配慮した新庁舎整備に向けた各機能の検討 ③実績値：市民アンケートや個別意見聴取、高校生ワークショップ、先進事例の研究などの基礎調査を踏まえ、ユニバーサルデザイン導入など、庁舎の共通機能等について、庁内横断的なワーキングチームなどにおいて検討を進めるとともに、有識者から助言・意見などをいただきながら、その機能導入の方向性に係る検討を進めた。	―	現状維持	
2 子どもの人権 3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権 17 様々な人権問題	2:・児童虐待の予防・防止 ・相談・支援体制の充実 3:相談・支援体制の充実 4:・虐待防止の啓発推進 ・相談・支援体制の整備・充実 17:様々な人権問題についての理解促進	健康福祉総合相談課	重層的支援体制整備事業	①対象：複雑化・複合化した地域生活課題を抱える市民 ②取組内容：庁内の生活困窮、高齢、障害、子どもの各分野の担当者及びコミュニティソーシャルワーカーを中心として支援会議及び重層的支援会議を開催した。 ③実績値：開催回数73回	社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会	現状維持	障害分野、介護分野、生活保護分野、生活困窮分野、子ども分野、医療分野の各担当課職員及び社会福祉協議会CSWを支援会議のメンバーとし、幅広な視点を通して問題解決を図った。
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:相談・支援体制の充実 4:相談・支援体制の整備・充実	私立保育幼稚園課	障害児保育補助	①対象：私立保育所（園）、認定こども園 ②取組内容：保護者の就労などにより保育が必要な障害のある児童の受け入れに係る補助を行った。 ③実績値：補助 51施設において計197人	・私立保育所（園） ・認定こども園 ・小規模保育事業実施施設	拡充	保育認定子どものうち、障害のある児童が希望する施設へ1人でも多く入所できるよう、令和7年度より補助額の引き上げを実施した。令和8年度からは、補助対象を教育認定子どもまで拡充を行う。
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:相談・支援体制の充実 4:相談・支援体制の整備・充実	公立保育幼稚園課	発達障害等に関する幼稚園巡回相談	①対象：市内就学前施設職員及び、保護者 ②取組内容：発達障害等に関する専門的な知識・技能を持つ相談員3名を幼稚園に派遣し、教職員に対する指導助言や、幼児・未就園児の保護者からの相談に応じた。 ③実績値：371回相談を実施。	―	現状維持	所管する公立施設のみでなく、民間の就学前児童施設も対象している。
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:相談・支援体制の充実 4:相談・支援体制の整備・充実	公立保育幼稚園課	幼児ことばの教室	①対象：言語の障害（吃音、構音障害等）のある就学前の幼児（5歳児） ②取組内容：元教員による言語訓練及び保護者からの教育相談を実施した。 ③実績値：221回相談を実施。	―	現状維持	所管する公立施設のみでなく、民間の就学前児童施設も対象している。
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:相談・支援体制の充実 4:バリアフリー化の推進	施設整備課	学校エレベーター設置	①対象：学校利用者 ②取組内容：「学校施設のエレベーター整備等に関する方針」に基づくエレベーターの設置工事 ③実績値：3件完了し、3件着手した。	―	現状維持	
3 高齢者の人権	高齢者や認知症についての理解促進	健康福祉政策課	シルバー人材センター事業費補助事業	①対象：高齢者 ②取組内容：高齢者の知識や技能を活かした事業を通して、センターの設置目的である高齢者が働くことを通じた生きがいづくり、さらなる地域社会の活性化への貢献につなげていくことを効果的に支援する。R7年度は、英会話教室等の「幅広い世代の居場所づくり事業」や「遊休地活用事業」の経費の一部を補助した。 ③実績値：会員数1,733名（令和7年度末）	公益社団法人 シルバー人材センター	現状維持	
3 高齢者の人権	高齢者や認知症についての理解促進	健康福祉政策課	みまもりあいステッカーの配付	①対象：・枚方市内に住所があり、在宅で生活をしている方 ・要介護または要支援認定を受けている方（介護認定申請の予定・検討中を含む） ・認知症（若年性認知症を含む）による徘徊症状がみられる方 ・緊急連絡先となり、発見者等からの連絡に対応することができる家族等がいる方 ②取組内容：認知症による徘徊がみられる高齢者を介護している家族に対し、入会金2,000円及び初回1年分の年間利用料3,600円を市が補助し、2年目以降は、年間利用料3,600円を利用者負担としていたが、令和7年3月より、2年目以降の年間利用料を自己負担なく利用できるように運用を変更した。 ③実績値：申請者16人	地域包括支援センター	現状維持	
3 高齢者の人権	高齢者や認知症についての理解促進	健康福祉政策課	ひらかたSOSキーホルダーの配付	①対象：市内に住所を有する65歳以上の方、市内に住所を有する40歳以上の認知症状がある方又は市長が特に必要と認める方 ②取組内容：外出先で倒れたり、保護された時、緊急連絡先を記載したキーホルダーに連絡ができるよう、地域に身近な地域包括支援センターでも申請受付を行った。 ③実績値：配付数526個	地域包括支援センター	現状維持	
3 高齢者の人権	相談・支援体制の充実	健康福祉総合相談課	緊急通報装置設置事業	①対象：おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者等 ②取組内容：在宅生活の支援のため、消防署への通報や相談センターにつながる緊急通報装置を貸与し、ひとり暮らし高齢者等が自宅で安心して暮らし続けることのできる環境づくりを進めた。 ③実績値：設置者数2,457人（うち新規申請者数：256人）	―	現状維持	緊急通報装置を利用した相談の際には、電話だけでなくFAXによる対応も行っている。
3 高齢者の人権	・高齢者や認知症についての理解促進 ・相談・支援体制の整備・充実	健康福祉総合相談課	高齢者虐待防止ネットワーク会議	①対象：枚方市介護支援専門員連絡協議会、訪問介護事業者会、障害者基幹相談支援センター、枚方市社会福祉協議会、保健医療課等関係機関 ②取組内容：高齢者虐待の相談先である地域包括支援センターと協力し、関係機関との連携強化を目的にネットワーク会議を開催。 ③実績値：北部・中部・南部・東部の4エリアで、各1回開催	・地域包括支援センター ・社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会 ・障害者基幹相談支援センター ・市内介護保険事業者	現状維持	早期発見・早期対応することで高齢者の権利利益を擁護する支援を行っている。

基本方向3．人権相談・支援体制の充実　（2）支援体制

★:枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和7年度取組実績に掲載している項目↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R7年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 （基本方向4：関係団体、市民団体等との協働）	今後の方向 （令和8年度～）	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など
3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権	3:相談・支援体制の充実 4:相談・支援体制の整備・充実	危機管理政策課	避難行動要支援者の個別避難計画について枚方市地域防災計画に掲載	①対象：避難行動要支援者 ②取組内容：枚方市地域防災計画において、避難行動要支援者の同意に基づく個別避難計画の作成や、警察・消防組合・社会福祉協議会等の避難支援等関係者への提供について記載。 ③実績値：掲載済	・枚方警察署、交野警察署 ・枚方寝屋川消防組合 ・枚方市社会福祉協議会 などの避難支援等関係者	現状維持	
3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権	3・4バリアフリー化の推進	市駅周辺まち活性化部	③街区北口駅前広場の整備検討	①対象：枚方市内・外からの枚方市駅周辺への来訪者 ②取組内容： 令和5年度、令和6年度のバリアフリー協議会での意見聴取を踏まえて、北口駅前広場を整備した。 ③実績値：情報提供の面では、音声と触覚による案内を併用した「音声触知サイン」を導入した。また、視覚障害者誘導用ブロック（点字ブロック）の視認性を高めるため、黄色のブロックの両脇に幅約15cmの黒いブロックを敷設し、視覚的なコントラストを強調する工夫を施した。 バス停留所においては、車両が縁石に極限まで接近（正着）できるよう、シェルターの柱位置を縁石から60cmセットバックさせて配置し、乗降時の隙間や段差の縮小を図った。さらに、身障者乗降場には雨天に対応した張り出しシェルターを整備するとともに、「障害者のための国際シンボルマーク」を配した案内サインを設置し、利用のしやすさと視認性を向上させた。	バリアフリー協議会	終了（完了）	
3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権	3・4バリアフリー化の推進	市駅周辺まち活性化部	枚方市駅南側再整備に向けた検討	①対象：枚方市内・外からの枚方市駅周辺への来訪者 ②取組内容：枚方市駅南側（②④⑤街区）において、バリアフリー化など人権に配慮しながら、市街地開発事業の検討を行った。 ③実績値：駅前広場その他の道路整備についてバリアフリー対応の検討を行った。	―	現状維持	
3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権	3:・高齢者や認知症についての理解促進 ・相談・支援体制の充実 4:・障害についての理解促進 ・相談・支援体制の整備・充実	健康福祉総合相談課	成年後見制度	①対象：認知症や知的障害その他の精神上の障害等により判断能力が不十分な人 ②取組内容：対象者を法律的に支援し、本人の権利を守る手段である成年後見制度について、利用促進に係る施策を総合的かつ計画的に推進することを目的として策定した枚方市成年後見制度利用促進計画に基づき設置したひらかた権利擁護成年後見センターにおいて、関係団体間のネットワークの構築・連携等を図りながら利用促進を進めた。 ③実績値：相談・支援延件数1,769件、専門相談延件数19件、専門職派遣延件数1件	ひらかた権利擁護成年後見センター	現状維持	権利擁護のさらなる推進を目指して、制度の周知や連携支援を行い個人の意思を尊重した支援を実施している。
3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権	3:相談・支援体制の充実 4:相談・支援体制の整備・充実	環境事業課	■ふれあいサポート収集 ■大型ごみ持出しサポート収集	■ふれあいサポート収集 ①対象：市内に住所を有し、次のいずれかに該当する者のみで構成される世帯で、かつ、ホームヘルプサービスを現に利用されている方。 （1）要介護認定において、要介護1以上　（2）身体障害者手帳の交付を受け、障害の程度が1級または2級 （3）大阪府療育手帳の交付を受け、障害の程度がA　（4）精神障害者保健福祉手帳の交付を受け、障害の程度が1級 ②取組内容：家庭ごみを集積場所まで持ち出すことが困難な高齢者、障害者等の世帯に対し、戸別の収集を行う。 ③実績値：登録世帯数（244世帯） ■大型ごみ持出しサポート収集 ①対象：市内に住所を有し、次のいずれかに該当する者のみで構成される世帯。 （1）75歳以上　（2）要支援認定において、要支援1以上 （3）要介護認定において、要介護1以上　（4）身体障害者手帳の交付を受け、障害の程度が1級または2級 （5）大阪府療育手帳の交付を受け、障害の程度がA　（6）精神障害者保健福祉手帳の交付を受け、障害の程度が1級 （7）妊娠している者及び産後1年未満である者　（8）骨折等の傷病により一時的に搬出が困難である者 （9）前各号に掲げる者と同一世帯に属する18歳未満である者 ②取組内容：大型ごみ等を屋内から集積場所に搬出することが困難な高齢者、障害者等の世帯に対し、大型ごみ等を屋内から搬出し、収集を行う。 ③実績値：利用件数385件	―	拡充	令和7年度から、妊娠している者及び産後1年未満である者や、骨折等の傷病により一時的に大型ごみの搬出が困難である者を対象者へ加えた。 令和8年4月1日から、大型ごみ持出しサポート収集対象年齢を75歳から65歳へ引き下げ要件緩和を図り、さらなる高齢者への支援を行う。
3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権	3・4：バリアフリー化の推進	土木政策課	枚方市バリアフリー推進協議会	①対象：枚方市バリアフリー推進協議会の構成員 ②取組内容：当事者及び交通事業者等で構成する「枚方市バリアフリー推進協議会」を開催し、バリアフリー基本構想に基づく道路特定事業計画をはじめ、各事業者からのハード・ソフト両面からの取り組み内容の報告を行い、当事者との意見交換を行った。 ③実績値：令和8年3月11日開催	―	現状維持	【工夫したこと】 ・各事業者からのハード・ソフト両面からの取り組み内容の報告を行い、当事者との意見交換を実施した。
3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権	3・4：バリアフリー化の推進	中央図書館	活字による読書が困難な利用者への対面読書の実施	①対象：活字資料の利用が困難な利用者 ②取組内容：読書の機会を提供するため、希望する本や雑誌、新聞などを図書館に個人登録している音訳者が対面で読むサービスを実施した。インターネットを利用しての遠隔対面も実施した。 ③実績値：実施回数65回	厚生労働省	現状維持	図書館に来館しなくてもサービスが受けられる遠隔対面の実施。
3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権	3・4：バリアフリー化の推進	中央図書館	点字・録音図書の提供	①対象：活字資料の利用が困難な利用者 ②取組内容：読書の機会を提供するため、希望する点字図書や録音図書を提供した。希望する点字・録音図書が市内にない場合は、全国の図書館から借りて提供した。 ③実績値：貸出数 点字図書63タイトル、録音図書2,739タイトル	厚生労働省	現状維持	希望する点字・録音図書が市内にない場合は、全国の図書館から借りて提供しているが、未所蔵の録音図書は自館で製作している。提供までに数か月かかることが課題である。
3 高齢者の人権 7 外国人の人権	3:相談・支援体制の充実 7:相談・支援体制の整備・充実	支援教育課	夜間中学校	①対象：様々な事情で小学校や中学校を卒業できなかった市民 ②取組内容：様々な事情で小学校や中学校を卒業できなかった人に対して、学ぶ機会を設けている守口市立さつき学園夜間学級の入学者募集情報を、広報ひらかたに掲載したり、枚方市立生涯学習センターや枚方市立図書館等にチラシを配架したりした。 ③実績値：広報8月・3月号に掲載　28施設へ配架	守口市立さつき学園夜間学級	現状維持	

基本方向3．人権相談・支援体制の充実　（2）支援体制

★:枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和7年度取組実績に掲載している項目↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R7年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 （基本方向4：関係団体、市民団体等との協働）	今後の方向 （令和8年度～）	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など
4 障害のある人の人権	バリアフリー化の推進	議事広報課	枚方市議会報 点字・録音版の発行	①対象：視覚に障害がある市民 ②取組内容：枚方市議会報点字・録音版を発行した。 ③実績値 ・議会報（262号）：点字議会報9部、声の議会報35部 ・議会報（263号）：点字議会報9部、声の議会報35部 ・議会報（264号）：点字議会報9部、声の議会報35部 ・議会報（265号）：点字議会報9部、声の議会報33部 ・議会報（266号）：点字議会報9部、声の議会報33部 ・議会報（267号）：点字議会報9部、声の議会報31部	—	現状維持	
4 障害のある人の人権	バリアフリー化の推進	広報プロモーション課	広報ひらかた 点字・録音版の発行	①対象：市内に住む点字・録音版を必要とする方 ②取組内容：広報ひらかた点字・録音版の発行・配布 ③実績値：点字版…月8部、CD…月平均34部	—	現状維持	引き続き、点字・録音版を必要とする方のために発行する。
4 障害のある人の人権	バリアフリー化の推進	広報プロモーション課	ひらかた便利帳 点字・録音版の発行	①対象：市内に住む点字・録音版を必要とする方 ②取組内容：ひらかた便利帳点字・録音版の配布 ③実績値：点字版…0部、CD…0部	—	現状維持	引き続き、点字版・録音版を必要とする方のために発行・配布する。
4 障害のある人の人権	・障害についての理解促進 ・相談・支援体制の整備・充実	健康福祉政策課	障害者水泳教室	①対象：障害児、障害者とその親、ファミリー ②取組内容②実績値 障害者水泳教室（中学生以上）：全3回開催（参加人数：計31人） 障害児（者）ファミリー水泳：全21回（参加人数：計180組465人）※介助者含む 障害児（者）水泳教室（初級）：全7回（参加人数：計59組118人）※介助者含む 障害児（者）水泳教室（中・上級）：全4回（参加人数：計48組48人）※介助者含む	HUG共同事業体	現状維持	
4 障害のある人の人権	相談・支援体制の整備・充実	障害企画課	地域活動支援センター事業	①対象：支援を希望する市民（障害者、障害児） ②取組内容：サロン活動や各種教室の開催など創作的活動や生産活動を通じて、障害のある方へ社会との交流などを行った。 ③実績値：事業所 市内9カ所 延べ利用者数 34,621人	市内9か所の事業所	現状維持	
4 障害のある人の人権	雇用・就業体制の支援	障害支援課	障害者チャレンジ雇用会計年度任用職員	①対象：一般就労を希望する知的障害者、精神障害者 ②取組内容：前年度からの継続の1名に加え、新たに精神障害者2名を採用した。 ③実績値：新たに採用した1名が心身の不調等を理由に退職し、前年度から継続雇用されていた者1名は、退職後、就職先が決定した。	枚方市障害者就業・生活支援センター	現状維持	対象者が一般企業等への就労につながるよう、障害者・生活支援センター（ジョブコーチ）の協力のもと1カ月の就労状況の「振り返り」を本人、所属長と共に定期的に実施し、職務内容など必要な見直しをおこなっている。
4 障害のある人の人権	バリアフリー化の推進	障害支援課	障害者世帯の住宅改造助成	①対象：重度の障害者 ②取組内容：住宅改造助に必要な費用の補助を行った。 ③実績値：補助金交付件数12件	枚方市理学療法士会、枚方市通所・訪問リハビリテーション連絡協議会	現状維持	適切な改造工事が行われるよう、理学療法士の意見を踏まえ、補助を行った。
4 障害のある人の人権	雇用・就業体制の支援	障害支援課	エル・フェスタinひらかた 合同就職面接会（障害者合同就職面接会）	①対象：一般就労を希望する障害者 ②取組内容：1月に、ハローワーク枚方において、4社が参加して合同就職面接会を開催した。 ③実績値：応募者の中から4名が採用された。	・枚方市障害者就業・生活支援センター ・ハローワーク枚方	現状維持	
4 障害のある人の人権	バリアフリー化の推進	障害支援課	重度障害者住宅改造助成事業協力店募集	①対象：重度の障害者 ②取組内容：住宅改造助成事業を利用する市民に対して、無料で見積を行い、適正な料金で施工する業者を募集した。 ③実績値：16社を協力店名簿に掲載した。	—	現状維持	
4 障害のある人の人権	バリアフリー化の推進	中央図書館	読書バリアフリー講演会	第1回 ①対象：聴覚障害者の読書問題に関心のある市民 ②取組内容：通常の活字による読書や情報入手が困難な人に対して行っている障害者サービスの一環として、駒崎久美子（日本ろう自転車競技協会／（公財）日本自転車競技連盟第2級公認 審判員）&駒崎洋太（デフアスリート）を講師に迎え、「～ろう者として自転車競技の国際大会の審判員をめざして～きこえなくても安心して戦える環境づくりのために～」をテーマに読書バリアフリー講演会を開催した。 ③実績値：令和7年7月6日（日）実施。参加者数29人 第2回 ①対象：加齢や障害等で読書することが困難になった人、その関係者、読書のバリアフリーに関心のある人等 ②取組内容：「これまでの読書バリアフリー、これからの読書バリアフリー～『みんなでつくる「読書バリアフリー」』の出版を通じて見えてきたもの～」をテーマに読書バリアフリー講演会を開催した。講師：成松一郎（編集者、ライター、有限会社 読書工房代表） ③実績値：令和8年2月21日（土）実施。参加者数33人	厚生労働省	現状維持	聴覚障害の図書館の利用促進を促すとともに、手話とろう文化の理解を促進するために開催。多くの人に聴覚障害者の問題を知ってもらいたいという趣旨から、講師の手話を見て日本語で通訳する読み取り通訳を配置した。

基本方向3．人権相談・支援体制の充実　（2）支援体制

★:枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和7年度取組実績に掲載している項目↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R7年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 （基本方向4：関係団体、市民団体等との協働）	今後の方向 （令和8年度～）	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など	
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	中央図書館	手話ブックトーク	①対象：聞こえない又は聞こえにくい人、テーマに関心のある市民 ②取組内容：職員が手話で新しく入った本などを紹介し、手話ブックトークを開催した。 ③実績値：令和8年3月28日(土)実施。参加者数18人	—	現状維持	聴覚障害者の図書館の利用促進を促すとともに、手話とろう文化の理解を促進するために開催。聴覚障害者にとって利用する機会が少ない図書館を身近な施設と感じてもらうために、手話で新しい本を紹介したり、手話を使った手品を行った。	
4 障害のある人の人権	バリアフリー化の推進	中央図書館	バリアフリー映画上映会	●さだ図書館 ①対象：市民 ②取組内容：視覚障害者や聴覚障害者にも楽しめる映画会を開催することにより来館のきっかけをつくるとともに、健常者に対して障害者に関する理解を深めるため、音声ガイド・日本語字幕付きDVD「おしりたんてい　さらば愛しの相棒よ」を上映。 ③実績値：令和7年4月5日実施。参加者数43人 ●中央図書館 ①対象：市民 ②取組内容：視覚障害者や聴覚障害者にも楽しめる映画会を開催することにより来館のきっかけをつくるとともに、健常者に対して障害者に関する理解を深めるため、音声ガイド・日本語字幕付きDVD、2015年公開映画「杉原千畝」を上映し、手話通訳、磁気ループを配置した。 ③実績値：令和7年11月22日実施。参加者数47人 ●牧野図書館 ①対象：市民 ②取組内容：視覚障害者や聴覚障害者にも楽しめる映画会を開催することにより来館のきっかけをつくるとともに、健常者に対して障害者に関する理解を深めるため、音声ガイド・日本語字幕付きDVD「西の魔女が死んだ」を上映し、手話通訳を配置した。 ③実績値：令和8年2月11日実施。参加者数38人	—	現状維持	視覚障害者や聴覚障害者などにも楽しめる映画会を開催することで多様な利用者が図書館を利用するきっかけを作るとともに、健常者に対して視覚障害者や聴覚障害者に関する理解を深める機会となるように開催した。	★ (P.10)
4 障害のある人の人権	バリアフリー化の推進	中央図書館	手話でたのしむおはなし会	①対象：市民 ②取組内容：聞こえる人も聞こえない人も一緒に楽しめるよう、絵本の読み聞かせに手話をつけて行った。 ③実績値：実施回数4回　参加者数合計75人	—	現状維持	通常の絵本の読み聞かせに手話をつけたり、親子でも楽しめるように、手話を使った手品を行った。	
4 障害のある人の人権 7 外国人の人権	4・7:相談・支援体制の整備・充実	危機管理対策推進課	枚方市防災ガイド外国語・音訳・点訳版発行	①対象：市内在住の外国人 ②取組内容：枚方市防災ガイドの外国語版を配布した。 ③実績値：市役所及び各支所に配備済	—	現状維持		
5 こころの病（うつ病など）に関する人権	こころの病（うつ病など）についての理解促進	文化生涯学習課	うつ病情報交流会	①対象：本人、家族、うつ病に関心のある人 ②取組内容：交流、情報交換の場の提供。 ③実績値：参加者延べ人数50人	－	現状維持	本人、家族、うつ病に関心のある人が交流、情報交換を行える場として、毎月1回定期的に開催することで、うつ病についての理解促進を図れるよう工夫した。	
7 外国人の人権	・多文化についての理解促進 ・相談・支援体制の整備・充実	広報プロモーション課	広報ひらかた　多言語対応アプリで配信	①対象：枚方市に興味のある人　枚方市在住の人 ②取組内容：広報ひらかたを多言語対応アプリ「Catalog Pocket」で、英語、中国語簡体字・繁体字、韓国・朝鮮語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、日本語で配信した。 ③ －	—	拡充	外国語の視聴が全体的に低く、外国人へのカタログポケットの周知を行い、より多くの視聴者獲得へ繋げる。	
7 外国人の人権	相談・支援体制の整備・充実	広報プロモーション課	ホームページ 多言語・やさしい日本語対応	①対象：市HP利用者 ②取組内容：市HP利用者が誰でも変換対応できるようにした。 ③実績値：やさしい日本語　表示回数 5,117回、利用者数 3,723人 多言語対応　合計581回表示	—	現状維持	日本語に不慣れな人にも市の情報を分かりやすく伝える取り組みとして継続していく。	
7 外国人の人権	相談・支援体制の整備・充実	広報プロモーション課	市勢要覧　外国語での発行	①対象：市勢要覧外国語版を必要とする方 ②取組内容：市勢要覧外国語版の配布 ③実績値：配布部数131部	—	現状維持	引き続き、外国語版を必要とする方のために発行・配布する。	
7 外国人の人権	相談・支援体制の整備・充実	観光交流課	通訳・翻訳サポーターの派遣	①対象：庁内各課 ②取組内容：庁内各課の依頼に基づき行政サービスに係る通訳、翻訳を行った。 ③実績値：通訳105件、翻訳58件	—	現状維持	新しいボランティアの補充が課題。	
7 外国人の人権	相談・支援体制の整備・充実	健康福祉政策課	枚方市医療通訳士登録派遣事業	①対象：日本語を話せない外国人住民等 ②取組内容：安心して市内の医療機関を利用できる環境づくりを行うとともに、コミュニケーションギャップに起因する医療従事者の負担や診療上のリスクを軽減することを目的に、医療通訳士（医療通訳ボランティア）を派遣した。 ③実績値：派遣件数377件、通訳士登録者数17名	特定非営利活動法人　多文化共生センターきょうと	令和7年度末で終了		
7 外国人の人権	相談・支援体制の整備・充実	教育政策課 （文化生涯学習課）	枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」	①対象：日本語の読み書きや会話に困っている方 ②取組内容：日本語が分からないため、日常生活で読み書きや会話に困っている人を対象に、日本語学習の場を提供することを目的として、6か所の生涯学習市民センターにて開催した。 ③実績値：実施回数565回、延べ参加者数2,511人	—	現状維持	学習者の希望に対応できるよう、研修を通じてスタッフのスキルアップを図った。	★ (P.10)
7 外国人の人権	相談・支援体制の整備・充実	支援教育課	在日外国人教育の推進と日本語指導の充実	①対象：日本語指導が必要な児童・生徒 ②取組内容：日本語指導加配教員による巡回指導（枚方市帰国児童等に対する教育指導員派遣事業含む） ③実績値：指導した児童生徒数92名	—	現状維持	編入時における派遣回数を柔軟に対応できるよう検討する。	
8 HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権	・HIV感染者・ハンセン病についての理解促進 ・相談体制の整備・充実	保健予防課	HIV匿名検査	①対象：HIV検査を希望する人 ②取組内容：毎週火曜日に匿名、無料でHIV検査を実施。翌週に結果返却。検査前相談、結果返却は個室で行い、受検者からの相談対応や予防啓発を実施する。 ③実績値：実施49回、受検者数306人	—	現状維持	・アンケートにてプライバシーの確保に関して満足度がやや低い状況であるため、プライバシーを確保した環境づくりに取り組む必要がある。 ・より匿名性や利便性の高い方法について検討が必要。	

（別冊） 令和7年度取組実績一覧

基本方向3．人権相談・支援体制の充実　（2）支援体制

★:枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和7年度取組実績に掲載している項目↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R7年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 （基本方向4：関係団体、市民団体等との協働）	今後の方向 （令和8年度～）	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など	
10 犯罪被害者支援やその家族等の人権	相談・支援体制の整備・充実	人権政策課	大阪府被害者支援調整会議における取組	①対象：市民 ②取組内容：大阪被害者支援アドボカシーセンターが調整役となる大阪府被害者支援調整会議に出席し、被害者が 求める支援計画に基づき、対応する窓口の案内や情報提供など、適切な支援につなげた。 ③実績値：出席回数 2回	認定特定非営利活動法人 大阪府被害者支援アドボカシーセンター	現状維持	必要に応じて、市の関係機関と連携し、被害者の人権が守られるよう取り組んでいる。	
11 ホームレスの人権	相談・支援体制の整備・充実	健康福祉総合相談課	住居がない、もしくは住居を失うおそれのある生活困窮者に対する居住支援事業(シェルター事業)	①対象：住居がない、もしくは住居を失うおそれのある生活困窮者 ②取組内容：住居がない、もしくは住居を失うおそれのある生活困窮者に対し、宿泊場所の供与、食事の提供等を行い、その後の自立に向けた支援を実施した。 ③実績値：支援した人数25人	・大阪府 ・ホテル等協力施設	現状維持	対象者の人権が配慮されるよう、あらゆる観点から支援している。	★ (P.10)
12 性的マイノリティ（LGBT等）の人権	相談・支援体制の整備・充実	人権政策課	ひらかた・にじいろスペース	①対象：性的マイノリティ当事者 ②取組内容：性的マイノリティ当事者同士が気軽に集い、情報交換ができ、抱えている悩みについて参加者同士で語り合えるような場としてらひらかた・にじいろスペース（（LGBTQ+コミュニティスペース）を開催。 ③実績値：30人（延べ）（毎月第3火曜日）	特定非営利活動法人 QWRC	拡充	令和8年度は、テーマ制を導入し、参加者数の増加を図っている。LGBTQ+事業に係るLINEアカウントの作成を予定しており、当事者が利用しやすい体制を整え、当事者に寄り添った支援を推進しながら、更なる周知を図っていく。	★ (P.10)
12 性的マイノリティ（LGBT等）の人権	相談・支援体制の整備・充実	人権政策課	パートナーシップ宣誓制度	①対象：性的マイノリティ当事者 ②取組内容：誰もが多様性を認め合い、いきいきと暮らせる人権尊重のまちづくりに向けた取組の一環として、パートナーシップ宣誓制度を実施。また、制度利用者の府内での住所異動に伴う手続の負担軽減を図るため、令和4年9月に大阪府内でパートナーシップ宣誓制度を実施している自治体と協定を締結し、転入出を伴う転居時における手続きについて、当事者の負担軽減を図ってきた。令和6年4月より京都府と兵庫県の自治体間の転入出についても負担を軽減できるよう広域自治体間連携を開始し、令和6年11月からは連携自治体の範囲を全国に拡大した。 ③実績値：パートナーシップ宣誓6組	パートナーシップ制度導入自治体	現状維持		
12 性的マイノリティ（LGBT等）の人権	相談・支援体制の整備・充実	人権政策課	LGBTQ+チャット相談	①対象：LGBTQ+当事者や家族など ②取組内容：LGBTなどの性的マイノリティに関する専門チャット相談を月2回実施。 ③実績値：相談件数16件	特定非営利活動法人 QWRC	現状維持		
12 性的マイノリティ（LGBT等）の人権	性の多様性についての理解促進	選挙管理委員会事務局	選挙従事者マニュアルへの配慮事項の記載	①対象：参議院選挙、衆議院選挙・大阪府知事選挙の投票事務に従事した職員 ②取組内容：選挙事務従事者マニュアルへの配慮事項の記載や、LGBTQ+の当事者についての資料配布を行った。 ③実績値：参議院選挙投票事務従事者 約1,110人、衆議院選挙・大阪府知事選挙投票事務従事者 約1,190人	―	現状維持	引き続きLGBT等の当事者への配慮について対応した投票事務の遂行にあたる。	
15 インターネットによる人権侵害	インターネット上の差別情報の拡散防止	人権政策課	インターネット上の誹謗中傷に対するモニタリング	①対象：枚方市（地区）及び枚方市民に係る差別的な情報や書き込み ②取組内容：特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会への委託事業として、インターネット上のモニタリング を実施した。 ③実績値：個人への誹謗中傷件数 33件	特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会	現状維持	曜日を変えて週に1回、1時間程度点検している。	★ (P.10)
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	市民生活政策課	戸籍等の取得に関する本人通知制度	①対象：枚方市に住民票や戸籍の情報がある人 ②取組内容：市町村が住民票の写しや戸籍謄本などを、代理人や第三者が交付した場合に、希望する本人に交付したことを知らせる制度で、不正取得による人権侵害を防止する。平日の本庁、3支所及び枚方市駅市民窓口センターでの登録受付に加え、オンライン申請による受付も開始した。 ③実績値：制度利用申請件数108件	―	現状維持	本人通知登録者が増えることで、通知に係る審査等本人通知業務が増えてきていることから、今後システム化に取り組む必要がある。	
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	健康づくり課	がん治療での見た目の悩みを支援（ウィッグや人工乳房などの購入費用を一部補助）	①対象：申請日時点で枚方市に住民票がある人。がんと診断されその治療を受けた、または受けている人。対象の補整具を令和4年4月1日以降に購入した人。対象となる補整具について、過去に助成を受けていない人。 ②取組内容：がん治療による抗がん剤治療等により補整具の購入が必要となった人が補整具を購入した後に、補助金の申請があった際に、購入費用の補助金（上限額あり）を交付しいる。これにより、がん患者の心理的な負担を軽減し、社会参加の促進及び生活の質の向上を図る。 ③実績値：交付件数211件	枚方市内のがん相談支援センター	現状維持	こころの健康を配慮するなかで、令和6年度よりLogoフォームの申請を開始することにより、外に出ることが困難な対象者に対して申請をしやすい状況を整えた。	